

Aterm® WM3450RN

取扱説明書 第1版



↑
接続・設定の際は、「つなぎかたガイド」をご覧ください。



技術基準適合認証品

「ソフトウェアのご使用条件」は、「つなぎかたガイド」に記載されています。添付 CD-ROM を開封する前に必ずお読みください。

はじめに

この度は Aterm WM3450RN をご利用いただき、まことにありがとうございます。
Aterm WM3450RN（以下、WM3450RN と呼びます。）は、UQWiMAX 網を利用した MVNO（仮想移動体通信事業者）および UQ コミュニケーションズ株式会社の提供による WiMAX サービスに接続して通信を行う IEEE802.11b、IEEE802.11g に準拠した据置型の無線 LAN 内蔵ホーム WiMAX ルータです。

本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあと大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。



つなぎかたガイド（小冊子）

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。




取扱説明書（本書）

本商品の基本機能についての説明書です。



機能詳細ガイド（HTML ファイル）

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。

「機能詳細ガイド」はホームページに掲載されています。

箱に添付されておりサポート案内の用紙に記載の URL からご覧ください。

（サポート案内は、「お問い合わせ・アフターサービス」や「お問い合わせ情報」と記載されている場合があります。）

■電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- 2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。



- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
- DS/OF: DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
- 4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
- : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

■ WiMAX 通信をご利用いただくにあたって

- 本商品は日本国内でのご利用を前提としています。海外に持ち出しての使用はできません。
- サービスエリア内でも電波が伝わりにくい場所（屋内、車中、地下、トンネル内、ビルの陰、山間部など）では、通信できなかつたり通信速度が低下する場合があります。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご利用になれない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなりますが、電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本商品は、高度な認証・暗号化技術を使った安全な通信が可能ですが、電波を利用する以上、第三者に通信を傍受される可能性があります。お客様ご自身の判断と責任において、お使いのパソコンのセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。

Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。

らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。

Windows[®]、Windows Vista[®]、Windows Live™ は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista[®] はオペレーティングシステムです。

Mac、Macintosh、Mac OS、AirMac、iPad、iPhone、iPod、iPod touch、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の登録商標または商標です。

iPhone 商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

Lion および Snow Leopard は、Apple Inc. の商標です。

インテル、Intel は、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションの商標です。

PowerPC は、米国における米国 International Business Machines Corp. の商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Google Chrome は、Google Inc. の商標または登録商標です。

“プレイステーション” および “PSP” は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

Wii・ニンテンドー DS・ディーエス /DS は、任天堂の登録商標または商標です。

Xbox 360 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe Reader、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

WiMAX Forum は WiMAX Forum の登録商標です。WiMAX、WiMAX Forum ロゴ、WiMAX Forum Certified、および WiMAX Forum Certified ロゴは WiMAX Forum の商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利者の所有物です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2011, © NEC AccessTechnica, Ltd. 2011




日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

-  **警告** :人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** :人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** :本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号



発火注意



感電注意

■ 行為を禁止する記号



一般禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



火気禁止

■ 行為を指示する記号







一般指示











電源プラグをコンセントから抜く

警告














ACアダプタ

- AC100Vの家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。  
差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタの電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。  
また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

警告

- 本商品の AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- AC アダプタは必ず本商品に添付のもの（ラベルに「AL1-001661」と記載されているもの）をお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品添付の AC アダプタは日本国内 AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。AC アダプタは、容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品のコネクタ接続部に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、隙間などから異物が入らないようにしてください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源を切り、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- AC アダプタの電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。

警告

- 強い衝撃を与えたり、落としたり、曲げたりしないでください。万一、落としたり破損した場合は、すぐに本商品の電源を切り、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。



禁止事項

- 本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。改造した機器を使用した場合は、電波法に抵触します。
- めれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。











医療電気機器の近くでの取り扱いについて

※下記記載は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本商品は 22cm 以上離して使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
 - ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本商品を持ち込まないでください。
 - ・病棟内では、本商品の電源を切ってください。
 - ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本商品の電源を切ってください。
 - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。
- 自宅療養などで医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。














⚠ 警 告

その他のご注意事項

- 病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。 
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。   
- 引火や爆発のおそれがある場所（ガソリンスタンドなど）や引火性のガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。爆発、発火、破裂、故障、火災の原因となります。  
- ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。  









⚠ 注意

設置場所




- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。機器の変形、故障の原因となります。また、内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。  
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。   
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。  
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落下してけがの原因となることがあります。 
- 本商品を風通しの悪いところに置かないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・ 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・ じゅうたんや布団の上に置く
 - ・ テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。また、本商品の上に物を置かないでください。重ね置きや上部に物を置くと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 
- 布や毛布をかぶせたり、包んだりしないでください。火災や故障の原因となります。 
- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けしないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。 
- 本商品は、横置きにしないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。 

⚠ 注意

AC アダプタ

- AC アダプタの電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ本体をもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。  
- AC アダプタの電源プラグとコンセントの間にほころぎがある場合は、取り除いてください。火災の原因となることがあります。 
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。   
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。 
- 本商品の使用中や使用直後、AC アダプタは、高温になる場合があります。やけどなどのおそれがありますので注意してください。 

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。 
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。 
- 「つなぎかたガイド」にしたがって接続してください。間違えると正常に動作しなかったり、接続機器が故障することがあります。 

STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところでのご使用は避けてください。
 - ・ 振動が多い場所
 - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
 - ・ 高周波雑音が発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となる場合があります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。
- 本商品と無線 LAN 端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。
- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、接続コードを取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

無線 LAN / WiMAX に関するご注意

- WiMAX の通信速度、最大下り 40Mbps/ 上り 15.4Mbps (規格値) は IEEE802.16e-2005 (Mobile WiMAX) の規格で定められたデータ転送速度の最大値であり、実際のデータ転送速度 (実効値) ではありません。同様に、無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本製品は IEEE802.16e-2005 (Mobile WiMAX) 準拠製品であり、IEEE802.16e-2004 (固定 WiMAX) との接続性は保証の限りではありません。
- サービスエリア外ではご使用になれません。
- サービスエリア内でも電波が伝わりにくい場所 (屋内、車中、地下、トンネル内、ビルの陰、山間部など) では、通信できなかったり通信速度が低下する場合があります。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。あらかじめご了承ください。
- WiMAX および無線 LAN の電波状態や伝送速度は、建物や家具、移動速度などの周辺環境により大きく変動します。

STOP お願い

その他のご注意

- 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなり、データが壊れることがあります。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 端末や無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	5
目次	15
「㊟機能詳細ガイド」目次	17
本商品に添付の CD-ROM について	18
1 章 準備	
1-1 本商品でできること	1-2
1-2 箱の中身を確認しよう	1-8
1-3 各部の名称とはたらき	1-9
WM3450RN	1-9
1-4 あらかじめ確認してください	1-12
パソコンの準備	1-12
2 章 設置する	
2-1 設置する	2-2
WM3450RN の置き場所を決める	2-2
WM3450RN を設置する	2-3
3 章 無線 LAN を設定する	
3-1 無線 LAN を設定する	3-2
3-2 パソコンなどから無線 LAN を簡単に設定する	3-3
らくらく無線スタート/らくらく無線スタート EX を使用して	
無線設定をする	3-3
WPS 機能を使用して無線設定する	3-4
3-3 無線 LAN で iPad/iPod touch/iPhone から接続する	3-7
3-4 無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する	3-8
3-5 Windows Vista [®] および Windows [®] 7/XP の	
「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する	3-9
Windows [®] 7 の場合	3-10
Windows Vista [®] の場合	3-17
Windows [®] XP (SP3) の場合	3-24
本商品との通信状態を確認するには	3-28
4 章 クイック設定 Web の使いかた	
4-1 クイック設定 Web の使いかた	4-2
クイック設定 Web をご使用になる前に	4-2
クイック設定 Web の起動のしかた	4-4
ポップアップヘルプについて	4-5

5章 契約をする	
5-1 WiMAX 回線契約をする	5-2
サインアップする	5-2
6章 便利な機能	
6-1 その他の便利な機能	6-2
VPN パススルー機能	6-2
IP パケットフィルタリング	6-2
ポートマッピング	6-2
UPnP 機能	6-2
7章 セキュリティ対策をする	
7-1 セキュリティ対策をする	7-2
セキュリティ機能について	7-2
7-2 悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能を設定する	7-3
悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能の設定	7-4
ブロックレベルカスタム設定	7-9
例外サイトを登録する	7-10
ブロック画面の一時解除方法	7-11
8章 バージョンアップをする	
8-1 ファームウェアをバージョンアップする	8-2
ファームウェアをバージョンアップする	8-2
ファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする	8-6
9章 お困りのときには	
9-1 トラブルシューティング	9-2
設置に関するトラブル	9-2
WiMAX に関するトラブル	9-3
添付の CD-ROM に関するトラブル	9-11
9-2 初期化する	9-12
クイック設定 Web で初期化する	9-12
RESET スイッチで初期化する	9-13
10章 付録	
10-1 製品仕様	10-2
WM3450RN ハードウェア仕様	10-2
10-2 索引	10-4

「機能詳細ガイド」目次

本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が別紙に記載のホームページにて掲載されています。以下に記載されている項目を示します。

〈機能一覧〉

■ルータ機能■

ブロードバンドルータ機能	アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT)
ポートマッピング (アドバンスド NAT オプション)	DNS ルーティング
IP パケットフィルタリング	ダイナミックポートコントロール機能
DHCP サーバ機能	DNS フォワーディング
不正アクセス検出機能	悪質サイトブロック (ファミリースマイル) 機能
通信情報ログ (アクセスログ機能)	UPnP 機能

■WAN側機能■

VPN パススルー機能

■無線機能■

11n テクノロジー無線 LAN	デュアルチャネル
IEEE802.11b 無線 LAN	IEEE802.11g 無線 LAN
暗号化	MAC アドレスフィルタリング機能
ネットワーク名 (SSID) によるセキュリティ機能	ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)
マルチ SSID	ネットワーク分離機能
オートチャネルセレクト	AirMac 対応のパソコンでインターネット接続
らくらく無線スタート機能	らくらく無線スタート EX 機能
WPS 機能	

■その他の機能■

管理者パスワードの変更	時刻設定
通信確認 (疎通確認テスト)	情報表示 (装置情報、状態表示)
ファームウェアの更新	

〈クイック設定 Web の使い方〉

〈無線機能の使い方〉

機能一覧 (無線)	クイック設定 Web の使い方 (無線)
無線セキュリティ	

〈高度な使い方〉

外部にサーバを公開する	ネットワーク対応アプリケーション
ファイルとプリンタの共有	

〈お困りのときには〉

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。詳細は、「メニュー画面」の「本 CD-ROM について」をご覧ください。

■ Windows® パソコン

- ① 無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行うらくらく無線スタート EX (Windows Vista® および Windows® 7/XP (SP3) のみ)
- ② TCP/IP チューンアップウィザード (Windows® XP (SP3) のみ)
- ③ 取扱説明書 (PDF ファイル)

【ご使用上のご注意】

- 添付の CD-ROM をセットして [自動再生] 画面が表示されたら、[Menu.exe の実行] をクリックしてください。
- 添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。
 - ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) をクリックし、[すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [ファイル名を指定して実行] を選択する
※ Windows® XP の場合は、[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
 - ② 名前欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe を入力し、[OK] をクリックする
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q : ¥menu.exe)
- CD-ROM をパソコンから取り出すときは、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。
- Windows Vista® および Windows® 7/XP でユーティリティのアンインストールを実行する場合は、Administrator 権限のあるユーザでログインしてください。
- 音声を使用できること。(パソコンにサウンドデバイスが装備されている)
らくらく無線スタート EX は、音声ガイドでも案内しています。

CD-ROM の動作環境

- 下記の OS が正しく動作し、CD-ROM が使用できること。
 - ・ Windows® 7 の日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版
 - ・ Windows Vista® または Windows® XP (SP3) の日本語版かつ 32 ビット (x86) 版
- 推奨環境
 - ・ Windows® の推奨環境以上のパソコン
 - ・ ハードディスク容量：40GB 以上を推奨
 - ・ メモリ容量：Windows® 7/Windows Vista® の場合は、2GB 以上を推奨
Windows® XP の場合、512MB 以上を推奨
 - ・ 800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ
上記以外でも設定できますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

■ Mac パソコン

- ① 無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行うらくらく無線スタート EX (Mac OS X v10.5/v10.6 の日本語版かつ Intel 製 CPU 搭載製品のみ)
- ② 本書 (PDF ファイル)

【ご使用上のご注意】

- らくらく無線スタート EX を使用する場合、添付の CD-ROM をセットしたら、CD-ROM 内の「MAC」フォルダにある「らくらく無線スタート EX」アイコンをお使いの Mac パソコンにドラッグアンドドロップしてください。
設定手順は、別紙に記載のホームページをご覧ください。
- 音声を使用できること。(パソコンにサウンドデバイスが装備されている)
らくらく無線スタート EX は、音声ガイドでも案内しています。

CD-ROM の動作環境

- 下記の OS が正しく動作し、CD-ROM が使用できること。
Mac OS X v10.5 (Intel) の日本語版、Mac OS X v10.6 (Intel) の日本語版、
または Mac OS X Lion (v10.7)
(PowerPC 搭載機種では動作しませんのでご注意ください。)
- 推奨環境
 - < Mac OS X v10.5 (Intel) >
CPU : Intel Core 2 Duo/2GHz 以上
メモリ : 1GB 以上
 - < Mac OS X v10.6 (Intel) >
CPU : Intel Core 2 Duo/2GHz 以上
メモリ : 1GB 以上
 - < Mac OS X Lion (v10.7) (Intel) >
CPU : Intel Core 2 Duo/2GHz 以上
メモリ : 2GB 以上
USB インタフェース : USB 2.0
- 表示画面
 - ・サイズ : 800 × 600 ピクセル以上
 - ・色 : High-Color (24 ビット) 以上上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

お知らせ


- PDF 形式のファイルをお読みいただくためには、Acrobat Reader 5.0 以上が必要です。
Adobe Reader または Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。
- 本商品の対応 OS については、P1-12 を参照してください。

MEMO

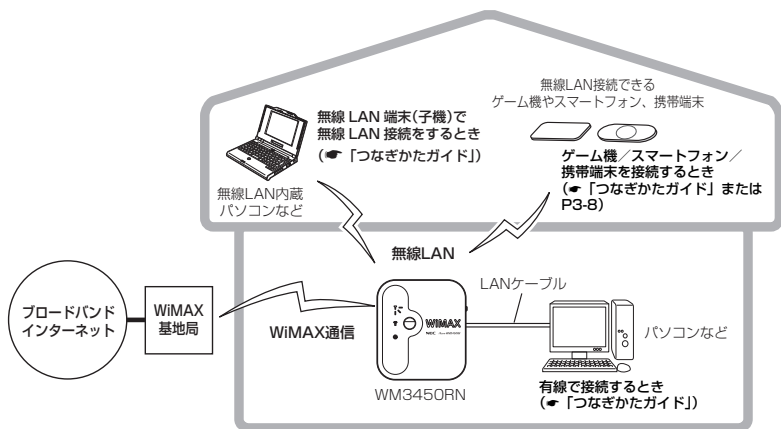


1

準備

- 
- 1-1 本商品でできること 1-2
 - 1-2 箱の中身を確認しよう 1-8
 - 1-3 各部の名称とはたらき 1-9
 - 1-4 あらかじめ確認してください 1-12

本商品は、IEEE802.16e (2.5GHz 帯) の WiMAX ネットワークで WiMAX 基地局と接続し、複数の無線/有線 LAN 端末をインターネット利用できるように束ねる無線 LAN 内蔵ホーム WiMAX ルーターです。



インターネットに接続するまでの手順や無線 LAN 設定については、「つなぎかたガイド」を参照してください。

さらに本商品では、ホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」で記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。

無線 LAN 通信

- IEEE802.11b、IEEE802.11g または IEEE802.11n に対応した無線 LAN 端末（子機）と無線通信を行うことができます。

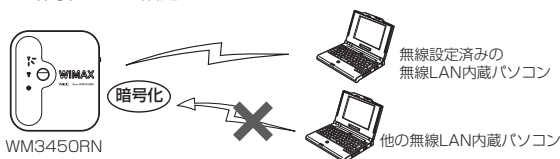
※ 無線で届く範囲は環境によって異なります。

※ IEEE802.11n に対応した無線 LAN 端末（子機）と無線通信する場合、伝送速度は最大 150Mbps（規格値）となります。

- 無線 LAN 内のセキュリティ対策

他の無線 LAN パソコンから接続されたり、通信が傍受されるのを防ぎます。（●P7-2）

※ 本商品にはあらかじめ、プライマリ SSID には AES、セカンダリ SSID には WEP の暗号化キーが設定されており、セキュリティがほどこされています。



- 無線 LAN 端末（子機）を増設する（機能詳細ガイド）

無線 LAN 端末（子機）として別売りの次の機器を増設できます。

11n テクノロジーでの通信	: WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL300NU-GS/ WL300NU-AG/WL300NU-G/WL300NE-AG
IEEE802.11b 通信	: WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL54GC/ WL54GU/WL54SC/WL54SC2/WL54AG/ WL300NU-GS/WL300NU-AG/WL300NU-G/ WL54SU/WL54SU2/WL54TU/WL300NE-AG/ WL54TE
IEEE802.11g 通信	: WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL54GC/ WL54GU/WL54SC/WL54SC2/WL54AG/ WL300NU-GS/WL300NU-AG/WL300NU-G/ WL54SU/WL54SU2/WL54TU/WL300NE-AG/ WL54TE

※ 11n テクノロジーでの通信で WL130NC を増設した場合は、デュアルチャネルモード（HT40）の通信はできません。HT20 での通信になります。

※ 11n テクノロジーでの通信では、周辺の電波環境によってデュアルチャネルモード（HT40）での通信ができない場合があります。

有効に機能させるには、セカンダリ SSID を「使用しない」に設定するか、セカンダリ SSID で「AES」または「暗号化無効」の設定にする必要があります。

※ 11n テクノロジーでの通信のとき、WL300NU-AG、WL300NU-G で無線 LAN 接続する場合は、無線 LAN 端末（子機）をパソコンから取り外し、本商品とパソコンを LAN ケーブル（添付品）で接続してクイック設定 Web から、暗号化モード [WPA/WPA2-PSK (TKIP)] または [WEP] に変更してから接続してください。

※ WL54AG-SD、WL54AG (S) は WL54AG に含まれます。

※ 接続する無線 LAN 端末（子機）によって通信速度が異なります。

また、WM3450RN が使用している通信規格と同じ通信規格の無線 LAN 内蔵パソコンを増設できます。（パソコンの機種により、機能制限があったり、接続できない場合があります。）

無線 LAN の同時接続は、最大 12 台です。12 台をこえて接続すると、通信が切断したり、つながりにくくなります。また、各 SSID の接続は最大 8 台です。

■ 無線 LAN 通信

● WPS 機能に対応

WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応した無線 LAN の自動設定を行うことができます。(●P3-4、㊦機能詳細ガイド)

設定方法には、らくらくスタートボタンによる設定の他、PIN 方式による設定があります。なお、設定するには、無線 LAN 端末 (子機) 側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi アライアンスが策定した無線 LAN の接続・セキュリティの設定を簡単に行うための規格です。

■ セキュリティ対策をする

ルータ機能により、ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。(㊦機能詳細ガイド)

- ・ IP パケットフィルタリング
- ・ アドバンスド NAT (IP マスカレード / NAPT)
- ・ 不正アクセス検出機能
- ・ 悪質サイトブロック (ファミリースマイル) 機能
- ・ ダイナミックポートコントロール機能

■ 悪質サイトブロック (ファミリースマイル) 機能

悪質サイトブロック (ファミリースマイル) 機能は、ネットスター社の提供する「インターネット悪質サイトブロックサービス」に対応する機能です。ネットスター社とライセンス契約を行い、パソコンなどのインターネット接続端末ごとに、ブロックレベル (小学生以下、中学生、高校生、大人) を設定することで、悪質なサイトや有害なサイトの表示をブロックし、お客様やお客様のご家族をこれらの危険なサイトから守ることができます。(●P7-3、㊦機能詳細ガイド)

■ マルチ SSID

本商品では 2 つの SSID (プライマリ/セカンダリ) を利用可能です。(㊦機能詳細ガイド)

● プライマリ SSID

(初期値: 無線 LAN 設定ラベル*に記載されている「ネットワーク名 (SSID)」, aterm-xxxxxx-g)

*無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。

暗号化方式として WEP/TKIP/AES が利用可能。(初期値は AES)

AES が設定されている場合、IEEE802.11n による高速通信が利用可能。

● セカンダリ SSID

(初期値: 無線 LAN 設定ラベル*に記載されている「ネットワーク名 (SSID)」の末尾に「-gw」がついたもの、aterm-xxxxxx-gw)

*無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。

暗号化方式として WEP/TKIP/AES が利用可能。(初期値は 128bitWEP)

*セカンダリ SSID には、工場出荷時の状態で下記の制限があります。

- ・クイック設定 Web が表示できない
- ・本商品に有線で接続された端末と通信できない
- ・本商品にプライマリ SSID で接続された端末と通信できない

制限を解除したい場合は、プライマリ SSID に接続した無線 LAN 端末 (子機) から、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 設定」の [対象ネットワークを選択] でセカンダリ SSID を選択し、[無線 LAN アクセスポイント (親機) 設定] の [ネットワーク分離機能] で [使用する] のチェックを外してください。(㊦機能詳細ガイド)

両 SSID は同時に動作しているため、AES を利用可能な無線 LAN 端末 (子機) と、ニンテンドー DS など WEP のみが利用可能な無線 LAN 端末 (子機) が共存可能です。

なお、らくらく無線スタート利用時には、無線 LAN 端末 (子機) の無線 LAN 規格に応じて、どの SSID に接続するかは自動選択・設定されますので、通常、これらの SSID の存在を意識していただく必要はありません。

■ デュアルチャネル

本商品では、無線 LAN 通信で利用する通信チャネルの幅を、従来の 20MHz 幅から 40MHz 幅に拡大することにより、従来比約 2 倍の通信速度 (理論値最大 150Mbps) を実現するデュアルチャネル通信機能を搭載しています。(初期値は「使用する」)

本商品でデュアルチャネル通信機能が利用可能な周波数帯は、2.4GHz 帯 (計 13 チャネル) です。(㊦機能詳細ガイド)

11n テクノロジーでの通信では、周辺の電波環境によってデュアルチャネルモード (HT40) での通信ができない場合があります。

機能を有効にするには、セカンダリ SSID を「使用しない」に設定するか、セカンダリ SSID で「AES」または「暗号化無効」の設定にする必要があります。

■ オートチャネルセレクト

本商品の起動時や無線 LAN 設定を変更した場合に、周囲にあるアクセスポイントを検出し、2.4GHz 帯で電波状態の良いチャネルを自動選択します。(初期値は「使用する」)(㊦機能詳細ガイド)

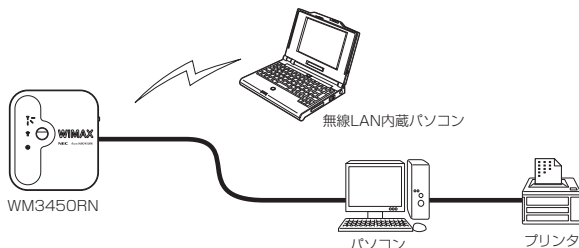
■ ネットワーク分離機能

本商品の「クイック設定 Web」および他の SSID 側の無線 LAN 端末へのアクセスを制限する機能です。

ネットワーク分離機能を「使用しない」に設定すると、ゲーム機などのセカンダリ SSID に接続する機器からも「クイック設定 Web」にアクセスすることができます。

■ ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

(☎機能詳細ガイド)



※本商品の機能ではありません。Windows® の共有機能の設定になります。

■ ゲーム機やスマートフォン、携帯端末を接続する

Wii、ニンテンドー DS、ニンテンドー DSi、ニンテンドー 3DS、「プレイステーション 3」、PSP「プレイステーション・ポータブル」および Xbox 360 などネットワークゲーム機を接続することができます。(☎P3-8)

また、スマートフォンなどの携帯端末を接続できます。動作確認済みの端末については、別紙に記載のホームページをご確認ください。

■ パソコンのネットワークゲームや TV 電話を利用する

次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。

- ・ポートマッピングの設定 (☎P6-2)
- ・UPnP 機能の設定 (☎P6-2)



■ SOHO で使用するとき便利な機能

- ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する (📖機能詳細ガイド)
ポートマッピング (アドバンスド NAT オプション) を利用して外部にサーバを公開できます。
- 会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN に接続する
(VPN (PPTP/IPsec) パススルー機能) (👉P6-2、📖機能詳細ガイド)
VPN (Virtual Private Network:仮想閉域網) に PPTP/IPsec で接続できます。

■ 知っておくと便利な機能

- バージョンアップする (👉P8-2)
各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、新しい機能を追加したり、場合によっては動作を改善します。
- 設定を保存する (📖機能詳細ガイド)
クイック設定 Web で、現在の設定内容を保存できます。WM3450RN を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから WM3450RN に設定内容を復元することができます。
- 初期化する (👉P9-12)
設定内容を工場出荷の状態に戻します。
うまく動作しない場合や、もう一度はじめてから設定したいときにお使いいただけます。

設置を始める前に、構成部品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にご連絡ください。

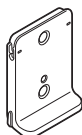
● 構成部品

WM3450RN



パネル表面には保護シートが貼ってあります。

WM3450RN 用
スタンド



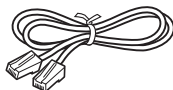
※ 工場出荷時は、本体に取り付けられています。

WM3450RN 用
AC アダプタ

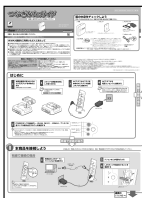


(品番：AL1-001661)
※ AC アダプタの形状は変更になる場合があります。

LAN ケーブル

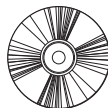


つなぎかたガイド (別紙)

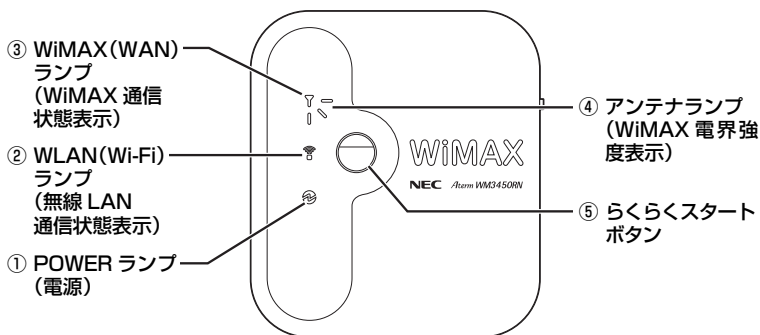


CD-ROM


らくらく無線スタートEX や取扱説明書 (本書) が収録されています。(●P18)






WM3450RN



【ランプ表示】

ランプの種類	色	状態	本商品の状態	
① POWER ランプ (電源) 	通常運用状態	緑	点灯	電源が入っているとき
		緑 橙 (3秒) (0.5秒)	交互点滅	起動中
		橙	点灯	新しいファームウェアが存在しているとき (●P8-2)
		赤	点滅	ファームウェアをバージョンアップしているとき
		—	消灯	初期化準備状態
	無線設定動作中	緑	点滅	電源が入っていないとき
		緑	点滅	らくらく無線スタートで設定をしているとき (●「つなぎかたガイド」)
		橙	点滅	らくらく無線スタートで設定をしているとき (●「つなぎかたガイド」)
		緑 橙	交互点滅	WPS で設定をしているとき (●P3-4)
		橙	点灯	らくらく無線スタートで設定が完了したとき
				WPS で設定が完了したとき
		赤	点灯 (約10秒間)	らくらく無線スタートで設定に失敗したとき
		赤	点滅	WPS で設定に失敗したとき

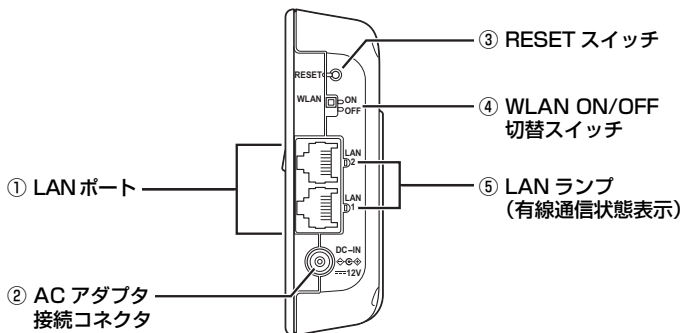
ランプの種類	色	状態	本商品の状態
② WLAN (Wi-Fi) ランプ (無線 LAN 通信状態表示) 	緑	点灯	無線 LAN が使用可能なとき
	緑	点滅	無線 LAN でデータ送受信しているとき
	—	消灯	WLAN ON/OFF 切替スイッチが OFF になっているとき 無線設定が OFF に設定されているとき
③ WiMAX (WAN) ランプ (WiMAX 通信状態表示) 	緑	点灯	WiMAX 接続で通信しているとき
	緑	点滅	WiMAX 接続処理中
	緑 橙 (1秒) (1秒)	交互点滅	サインアップ中のとき
	赤	点灯	WiMAX 接続に失敗したとき
	赤	点滅	サービス加入契約が完了していないとき
	—	消灯	WiMAX が圏外のとき WiMAX 接続していないとき サインアップで契約情報書き込み中のとき
④ アンテナランプ (WiMAX 電界強度表示) 	緑	3 本点灯	強レベル
	緑	2 本点灯	中レベル
	緑	1 本点灯	弱レベル
	—	消灯	WiMAX が圏外のとき WiMAX 接続していないとき

【設定ボタン】

名称	説明
⑤ らくらくスタートボタン (※)	<p>らくらく無線スタートで設定するときに使用します。 (☛「つなぎかたガイド」)</p> <p>WiMAX 通信が失敗した場合、再度 WiMAX のネットワークに接続するときに使用します。</p>

(※) 無線 LAN 端末 (子機) 側の操作説明では、「らくらくスタートボタン」または「らくらく無線スタートボタン」という名称で記載されています。

● 側面図



名称	説明	
① LANポート	パソコンまたはゲーム機などと接続します。	
② ACアダプタ接続コネクタ	WM3450RN用のACアダプタを接続します。	
③ RESETスイッチ	初期化するときに使用します。(●P9-13)	
④ WLAN ON/OFF切替スイッチ	無線LANのON/OFFを切り替えるときに使用します。 無線LANを使用しないで、停止させたい場合はOFFにします。 ※工場出荷時は、ON側です。	
⑤ LANランプ (有線通信状態表示)	緑 (点灯)	LANポートのリンクが確立しているとき
	緑 (点滅)	LANポートがデータ送受信しているとき
	消灯	LANポートのリンクが確立していないとき

本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっていること (☛P1-15)
- ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止
本商品設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したままている）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）
- クイック設定 Web で設定を行う場合は、JavaScript を有効にする設定にしておくこと (☛P1-16)

〈LAN ポートに有線で接続する場合〉

- LAN ポートを装備していること
- TCP/IP プロトコルスタックに対応していること
必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。
- パソコンのネットワーク設定を確認すること (☛P1-13)

〈接続可能な機器〉

OS など	WM3450RN の LAN ポート
Windows [®]	○
Macintosh	○
その他 OS (Linux など)	○
ゲーム機 / スマートフォンなど	○

※ Windows[®] 7 をご利用の場合

本商品は、Windows[®] 7 Starter、Windows[®] 7 Home Premium、Windows[®] 7 Professional、Windows[®] 7 Enterprise および Windows[®] 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版のみに対応しています。

本商品の Windows[®] 7 のサポートは、Windows[®] 7 がプリインストールされているパソコン、またはメーカーが Windows[®] 7 の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。

※ Windows Vista[®] をご利用の場合

本商品は、Windows Vista[®] Home Basic、Windows Vista[®] Home Premium、Windows Vista[®] Business および Windows Vista[®] Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版のみに対応しています。

Windows Vista[®] がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコンまたはメーカーが Windows Vista[®] の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。

自作のパソコンはサポートしておりません。

※ Mac OS をご利用の場合

本商品は、Mac OS X v10.5 (Intel)、Mac OS X v10.6 (Intel) および Mac OS X Lion v10.7 (Intel) の各日本語版のみに対応しています。PowerPC 搭載機種には対応していません。また、自作のパソコンはサポートしておりません。

お願い

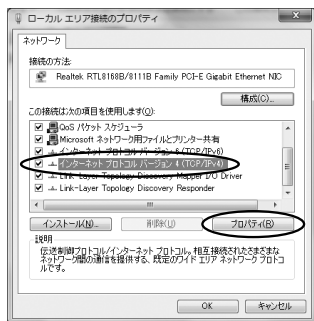
- OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページから本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

パソコンのネットワークの確認（有線接続の場合）

パソコンのネットワークの設定が、Windows® の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows® 7/Windows Vista® の場合

- 1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックし、[アダプターの設定の変更] をクリックする
※ Windows Vista® の場合は、[ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックし、[タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックします。
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
※ 有線接続の場合は [ネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 4 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする
- 5 [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



(画面は Windows® 7 の例です。)

- 6 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 7 [OK] をクリックする
- 8 [閉じる] または [OK] をクリックする

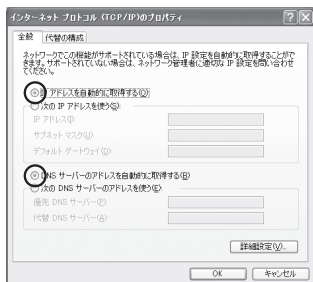


お知らせ

- Windows® 7/Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows® 7 の通常表示モード (カテゴリ表示)、Windows Vista® の通常表示モード (コントロールパネルホーム) を前提に記述しています。

Windows[®] XP をご利用の場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする
- 3 [ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
※有線接続の場合は [ネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
- 5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 6 [OK] をクリックする
- 7 [OK] または [閉じる] をクリックする



お知らせ

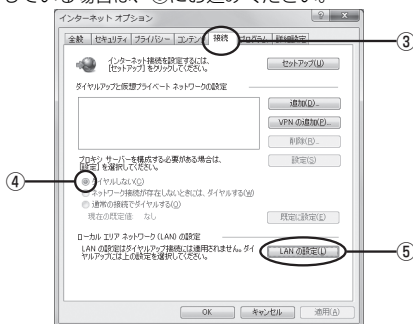
- Windows[®] XP の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows[®] XP の通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記述しています。

WWW ブラウザの設定確認

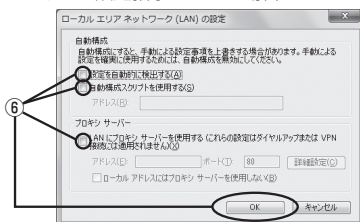
WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

以下は Windows[®] 7 で Internet Explorer 9.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

- ① Internet Explorer を起動する。
- ② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
- ③ [接続] タブをクリックする。
- ④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する。
※ グレーアウトしている場合は、⑤にお進みください。



- ⑤ [LAN の設定] をクリックする。
- ⑥ [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LAN にプロキシサーバーを使用する] の を外して [OK] をクリックする。
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



- ⑦ [OK] をクリックする。



お知らせ

- プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript の設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

Windows[®] で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows[®] 7 で Internet Explorer 9.0 を使用している場合の例です。なお、Windows Vista[®] および Windows[®] XP で設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

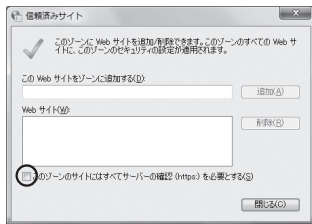
1 [スタート] (Windows[®] のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] をクリックする

※ Windows Vista[®] または Windows[®] XP をご利用の場合は、[スタート] (Windows[®] のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [クラシック表示] (または [クラシック表示に切り替える]) - [インターネットオプション] をクリックします。

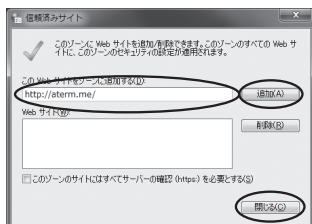
2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

3 [サイト] をクリックする

4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外す



- 5 [この Web サイトをゾーンに追加する] に [http://aterm.me/] を入力し [追加] をクリックし、[閉じる] をクリックする

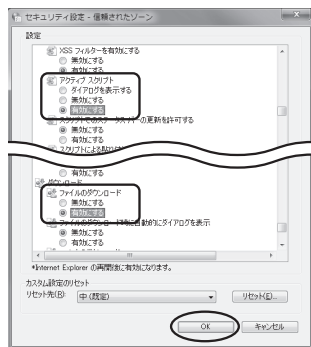


※クイック設定Webによる初期化(●P9-12)を行うと、再起動後は自動的に本商品の工場出荷時の IP アドレス (192.168.0.1) でクイック設定 Web 画面が開きますので、本商品の IP アドレス [http://192.168.0.1] も追加することをお勧めします。

※IP アドレス (工場出荷時は 192.168.0.1) を入力して設定画面を開く場合には、IP アドレスを入力します。(例: [192.168.0.1]) IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。

- 6 [レベルのカスタマイズ] をクリックする

- 7 画面をスクロールし、[アクティブスクリプト] と [ファイルのダウンロード] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



- 8 [はい] をクリックする

- 9 [適用] をクリックする

- 10 [OK] をクリックする

Firefox をご利用の場合 (Windows® 版)

以下は、Windows® 7 で Firefox 3.6 を使用している場合の例です。

- 1 Firefox を起動する
- 2 メニューバーの [ツール] - [オプション] をクリックする
- 3 [コンテンツ] をクリックする
- 4 [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる
- 5 [OK] をクリックする



Google Chrome をご利用の場合 (Windows[®] 版)

以下は、Windows[®] 7 で Google Chrome 11 を使用している場合の例です。

- 1 Google Chrome を起動する
- 2 [Google Chrome の設定] - [オプション] をクリックする
- 3 [高度な設定] をクリックする
- 4 「プライバシー」にある [コンテンツの設定...] をクリックする
- 5 [Javascript] で「すべてのサイトで Javascript の実行を許可する (推奨)」を選択する



- 6 Google Chrome を閉じる

Safari をご利用の場合 (Mac 版)

以下は、Mac OS X v10.6 Snow Leopard で Safari 5.0 を使用している場合の例です。

1 Safari を起動する


2 メニューバーの [Safari] - [環境設定] をクリックする

3 [セキュリティ] をクリックする

4 [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる



5 メニューバーの [Safari] から [Safari 終了] をクリックし、Safari を終了させる

Mac OS で Firefox をご利用の場合、または、Mac OS で Opera をご利用の場合の設定方法は「機能詳細ガイド」をご覧ください。



2

設置する

2-1	設置する.....	2-2
-----	-----------	-----

WM3450RN の置き場所を決める

WM3450RN には電源、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。

実際の接続は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

- WiMAX の電波が届く場所に置く
- WM3450RN 用の電源コンセントはあるか？
電源コンセントを確保しましょう。
- 無線 LAN 端末（子機）から無線で電波の届く距離に置く
無線 LAN 端末（子機）を設定するときは、WM3450RN のそばで設定しましょう。



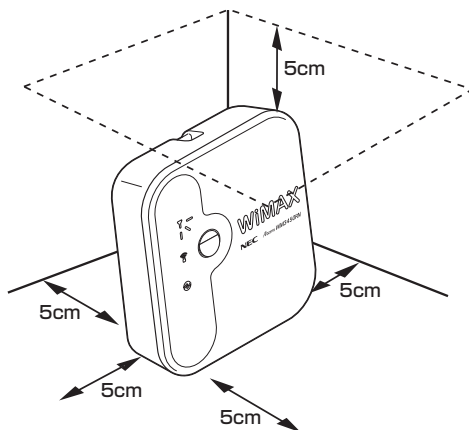
お知らせ

- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
- WM3450RN と無線 LAN 端末（子機）は 1m 以上離してお使いください。
- 近接するアクセスポイントと異なるチャンネルに設定してご利用ください。
- 本商品は、アンテナが内蔵されています。設置位置により十分な通信特性が得られない場合があります。

WM3450RN を設置する

本商品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などのものがない場所に設置してください。

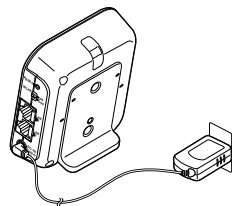
壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。



⚠ 警告

AC アダプタを接続および設置する際は、以下のことにご注意ください。

- AC アダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。
- 風通しの悪い場所に設置しないでください。
- AC アダプタに物をのせたり布を掛けたりしないでください。
- たこ足配線にしないでください。

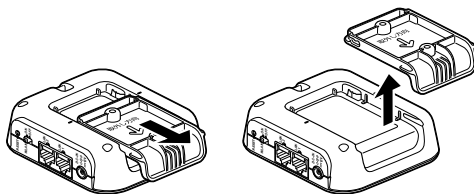


⚠ 注意

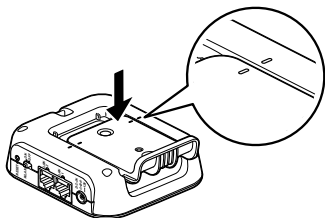
- 狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり火災の原因となることがあります。
- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。機器の変形、故障の原因となります。また、内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 本商品の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。
- 本商品のスタンドを外して使用しないでください。本体が熱くなり、皮膚に触れた状態で使用すると低温やけどの原因となったり、内部に熱がこもり、故障の原因となります。必ずスタンドを付けて設置してください。

縦置きの場合

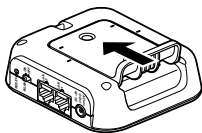
- 1 本商品裏面に取り付けられているスタンドを本体から外す
矢印の方向にスライドさせます。



- 2 スタンドの表裏を反対にし、本体側とスタンド側の印に位置を合わせる
「取外し方向」の文字が隠れる状態であわせて。

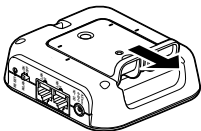


- 3 スタンドを矢印の方向にスライドする
「カクッ」という感触があるまでスライドしてください。



! スタンドを外す場合は

図のように、スタンドを取り付け時とは反対の方向へスライドさせて、取り外してください。

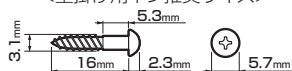


壁掛けの場合

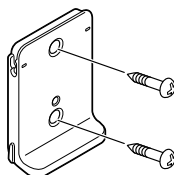


壁掛け用ネジはお客様でご用意ください。

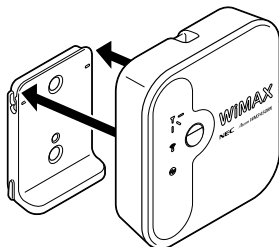
<壁掛け用ネジ推奨サイズ>



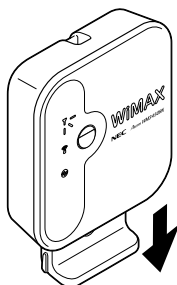
- 1 あらかじめ、添付のスタンドを壁に取り付ける



- 2 本体裏面の凹部をスタンドの上部にあわせる
スタンドの凸部に本体裏面のスタンド用取り付け穴を差し込みます。

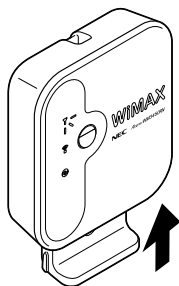


- 3 本商品を矢印の方向にスライドする
「カクッ」という感触があるまでスライドしてください。



！ 本商品を外す場合は

図のように、本商品を上面側へスライドさせて、取り外してください。



お願い

- 壁掛け設置されているスタンドから取り外す場合は、本商品の両端を持ち、上側に引き上げて取り外してください。
- 壁掛けの際、本商品取り付け時は「カクッ」という感触があるまで確実に押し込んでください。
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態で、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。また、衝撃や振動を加えないでください。
- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けしないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。
- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因になったり、そのまま使用すると火災・感電の原因になることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受付先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
- 本商品の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。
- 本商品は、横置きにしないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。



お知らせ

- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。



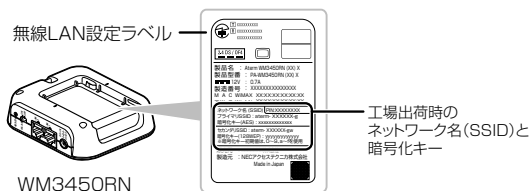
3

無線 LAN を設定する

- 3-1 無線 LAN を設定する……………3-2
- 3-2 パソコンなどから無線 LAN を簡単に
設定する……………3-3
- 3-3 無線 LAN で iPad/iPod touch/iPhone から
接続する……………3-7
- 3-4 無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する……3-8
- 3-5 Windows Vista® および
Windows® 7/XP の「ワイヤレスネット
ワーク接続」で設定する……………3-9

この章では、本商品に無線 LAN 接続する場合の設定について説明しています。

無線 LAN 接続するには、本商品の裏面に記載されている無線設定（ネットワーク名（SSID）、暗号化キー）を、ご利用の無線 LAN 端末（子機）側に設定します。



裏面ラベルの「ネットワーク名（SSID）」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容（SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。
※暗号化キー初期値は、0～9、a～f を使用

【無線設定内容（初期値）】

下記の「xxx…」 「yyy…」 は装置ごとに違う値ですので、本商品の裏面ラベルをご確認ください。

	ネットワーク名（SSID）	暗号化キー	暗号化
プライマリ SSID	2.4GHz aterm-xxxxxx-g	xxxxxxxxxxxxxx	AES
セカンダリ SSID	2.4GHz aterm-xxxxxx-gw	yyyyyyyyyyyyyy	WEP (128bit)

● ネットワーク名（SSID）

マルチ SSID 機能により、本商品には 2 つのネットワーク「プライマリ SSID」「セカンダリ SSID」があります。初期値については、上記の表を参照してください。

※ AES に対応していない無線 LAN 端末（子機）（ニンテンドー DS など）は、セカンダリ SSID に接続してください。

● 暗号化キー

暗号化キーは、セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキー、パスワードとも呼ばれています。

初期値は、半角英数 13 桁（0～9、a～f を使用）に設定されています。

※ アルファベットの大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。

※ 「b」（ビー）と「6」（ロク）を間違えないようご注意ください。なお「o」（オー）は使用していません。

※ 暗号化方式が WEP の場合は、下記を参考に設定してください。

- ・ WEP では OpenSystem 認証を使用しています。
- ・ キーは自動的に提供されません。また、キーインデックスは「1」となります。
- ・ IEEE802.1X は使用していません。
- ・ 英数字を 16 進数で入力する場合は読み替えてください。

読み替え方法：

英数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
16 進数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	61	62	63	64	65	66

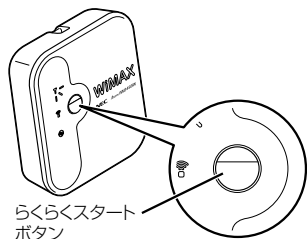
読み替え例：

0123456789abc → 30313233343536373839616263

パソコンなどから無線 LAN を簡単に設定する

らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEX を使用して無線設定をする

らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEX とは、本商品にあるらくらくスタートボタンの操作で、無線 LAN の接続設定 (SSID・暗号化キーなどの設定) を簡単に行える機能です。(●「つなぎかたガイド」)



無線 LAN 内蔵パソコン^(※1) の場合は、らくらく無線スタートEX で設定が可能です。(●「つなぎかたガイド」)

なお、本商品はらくらく無線スタートに対応した、Aterm シリーズの無線 LAN 端末 (子機)^(※2) や無線 LAN 内蔵パソコンからのらくらく無線スタートによる接続設定に対応しています。(設定方法は、無線 LAN 端末 (子機) に添付の取扱説明書を参照してください。)

- ※1 : Windows Vista[®] または Windows[®] 7/XP (SP3)、Mac OS X v10.5/v10.6 の日本語版かつ Intel 製 CPU 搭載のパソコンに対応。かつ各 OS のワイヤレスネットワーク接続などで無線 LAN 設定ができる環境に限られます。
- ※2 : WL300NC、WL130NC、WL300NC-G、WL300NU-GS、WL300NU-AG、WL300NU-G、WL54AG、WL54SC、WL54SC2、WL300NE-AG、WL54SU、WL54SU2、WL54TU に対応。対応 OS は各製品情報ページの仕様をご覧ください。



お知らせ

- らくらく無線スタートEX は、添付の CD-ROM に収録されています。
- らくらく無線スタートで接続できない場合があります。接続に失敗する場合には手動で無線設定し、接続してください。(●P3-9)
- ESS-ID ステルス機能を設定すると、らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEX で接続できない場合があります。その場合には、クイック設定 Web 画面の [無線 LAN 設定] で「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」を「使用しない」に設定してから、らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEX を実施してください。接続完了後、「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」を「使用する」に設定してください。(設定方法は、「無線 LAN 設定」－「無線 LAN 設定」－「無線 LAN 端末 (子機) の接続制限」を参照してください。)

WPS 機能を使用して無線設定する

WM3450RN は、WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応した無線 LAN の自動設定を行うことができます。

設定するには、無線 LAN 端末 (子機) 側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi アライアンスが策定した無線 LAN の接続設定を簡単に行うための規格です。

設定には、以下の方法があります。

- らくらくスタートボタンによる設定 (☛ 下記)
- PIN 方式による設定
→ WM3450RN の無線 LAN 設定を無線 LAN 端末 (子機) に設定する (☛ P3-5)

お知らせ

- WM3450RN で「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」が「使用する」になっていると、WPS 機能での設定に失敗します。WM3450RN 側の設定を確認してください。
- WPS 機能での設定中は他の無線接続はいったん切断されることがあります。

らくらくスタートボタンによる設定

WM3450RN にあるらくらくスタートボタンを押すことで、WPS 機能を起動させることができます。設定方法は下記の通りです。

※設定の際は、WM3450RN と無線 LAN 端末 (子機) は近くに置いた状態で設定してください。(目安: 1m 程度)

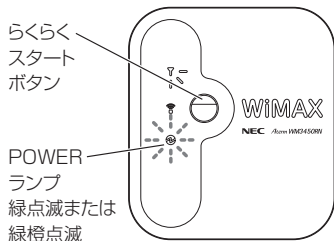
お知らせ

- WM3450RN で「MAC アドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、無線 LAN 端末 (子機) の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN 端末 (子機) によっては WPS 機能で設定できません。WM3450RN 側の設定を確認してください。

1 無線 LAN 端末 (子機) の WPS 機能を起動する

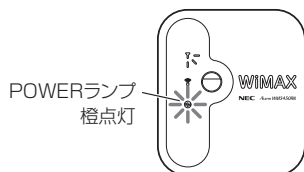
※起動方法は、無線 LAN 端末 (子機) に添付の取扱説明書などを参照してください。

2 WM3450RN のらくらくスタートボタンを押し、前面の POWER ランプが緑点滅または緑橙点滅したら放す



3 WM3450RN の POWER ランプ が橙点灯することを確認する

※ POWER ランプは約 10 秒間橙点灯
したあと、緑点灯に戻ります。



失敗した場合は、POWER ランプが約 10 秒間赤点滅します。
再度手順 1 からやり直しても失敗する場合は、無線 LAN 端末（子機）の取扱
説明書などを参照して、WM3450RN のネットワーク名（SSID）と暗号化キー
を設定してください。

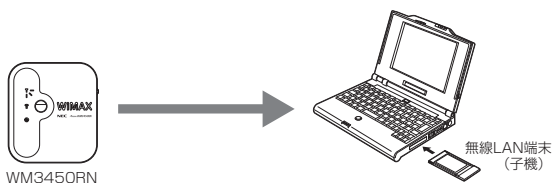
※ WM3450RN のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、WM3450RN
裏面のラベルを参照してください。

PIN 方式による設定

WM3450RN の無線 LAN 設定を無線 LAN 端末（子機）に設定する

PIN 方式を使って、WM3450RN の設定を無線 LAN 端末（子機）に設定します。

※ご利用になる無線 LAN 端末（子機）のドライバや設定ツールが必要な場合は、イン
ストールを済ませておいてください。



お知らせ

- WM3450RN で「MAC アドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、無
線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN 端末（子機）によっ
ては WPS 機能で設定できません。WM3450RN 側の設定を確認してください。

1 無線 LAN 端末（子機）を接続したパソコンでクイック設定 Web を起 動する場合は、いったん LAN ケーブルでパソコンと WM3450RN を 接続する

※他のパソコンでクイック設定 Web を起動する場合は、手順 2 に進みます。

（次ページに続く）

2 クイック設定 Web を起動する (P4-4)

3 「無線 LAN 設定」 - 「WPS 設定」 を選択する

4 [PIN 方式] の「使用する」にチェックする

5 「無線 LAN 端末の PIN コード」に無線 LAN 端末 (子機) の PIN コードを入力する

※無線 LAN 端末 (子機) の PIN コードは、無線 LAN 端末 (子機) に添付の取扱説明書などを参照してください。



6 [WPS (PIN 方式)] をクリックする



7 [OK] をクリックする

※WM3450RN の POWER ランプが緑点滅します。

8 無線 LAN 端末 (子機) を接続したパソコンで上記の設定をした場合は、パソコンから LAN ケーブルを取り外して、10 秒待つ

※他のパソコンで設定した場合は、手順 9 に進みます。

9 無線 LAN 端末 (子機) 側で WPS 機能を起動する

※起動方法については、無線 LAN 端末 (子機) に添付の取扱説明書などを参照してください。

※無線設定が完了すると、WM3450RN の POWER ランプが点滅灯 (約 10 秒間) します。

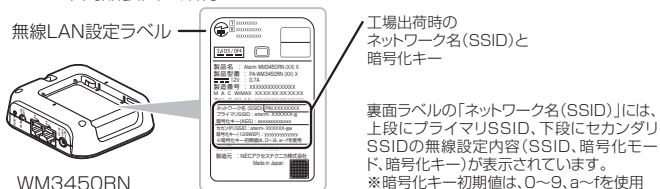
無線LANでiPad/iPod touch/iPhoneから接続する

本商品に無線 LAN で iPad/iPod touch/iPhone を接続することができます。

無線 LAN 設定ラベル*に記載されている無線設定を iPad/iPod touch/iPhone 側に設定してください。

設定方法については、iPad/iPod touch/iPhone に添付の取扱説明書を参照してください。

*ラベルは、本商品裏面に貼付しています。



1 本商品裏面に貼付のラベルに記載されているネットワーク名 (SSID) と暗号化キーをあらかじめメモを取っておく

暗号化キーを変更されている場合は、変更後の暗号化キーになります。

2 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする

3 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする

4 「Wi-Fi」ボタンが「オフ」になっている場合は、ボタンをタップして「オン」にする

5 周囲の無線 LAN アクセスポイントの一覧が表示されるので、手順 1 で確認したネットワーク名 (SSID) をタップする

6 「パスワード」に手順 1 で確認した暗号化キーを入力し、「Join」ボタンをタップする

本商品の暗号化キーの初期値は小文字です。数字を入力するときは、「[?]123」ボタンをタップすると、数字のキーボードに切り替わります。

7 設定が完了し、画面上部のステータスバーに Wi-Fi アイコンが表示される

例



お知らせ

- 本商品の無線 LAN で ESS-ID ステルスを設定する場合は、手順 5 で「その他」をタップしてネットワーク名を直接入力し、「セキュリティ」をタップして暗号化方式を選択してから「その他」をタップし、手順 6へ進みます。ワイヤレスネットワークの一覧から選択していったん接続が完了してから本商品の ESS-ID ステルスを有効にすると、iPad/iPod touch/iPhone を次に起動した際に接続できなくなりますのでご注意ください。
- 本商品に MAC アドレスフィルタリングを設定しているときは、いったん解除してから接続してください。
接続が完了したあとに、iPad/iPod touch/iPhone の MAC アドレスを登録して有効にしてください。
- 設定手順は、iPad/iPod touch/iPhone の OS バージョンにより変更される場合があります。

無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する

本商品に無線 LAN 内蔵のゲーム機を接続することができます。

* 無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。

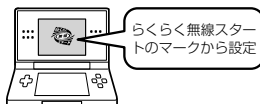
●らくらく無線スタートで設定

らくらく無線スタートに対応したゲーム機の場合は、らくらく無線スタートで簡単に無線 LAN 接続設定ができます。

<らくらく無線スタートで設定できるゲーム機の例>

- ・Wii
- ・ニンテンドー DS (ニンテンドー DS Lite 含む)
- ・ニンテンドー DSi (ニンテンドー DSi LL 含む)
- ・ニンテンドー 3DS
- ・「プレイステーション 3」
- ・PSP [プレイステーション・ポータブル]

設定方法はゲーム機の取扱説明書を参照してください。



※図は一例です。

●手動設定

らくらく無線スタートに対応していないゲーム機や、らくらく無線スタートで接続できない場合は、手動で設定してください。

本商品裏面の無線 LAN 設定ラベルに記載されている無線設定をゲーム機側に設定してください。

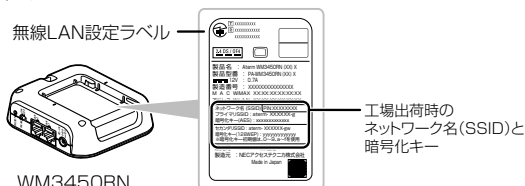
設定方法については、各ゲーム機に添付の取扱説明書を参照してください。

<無線接続できるゲーム機の例>

- ・Xbox360 など

ゲーム機の説明書にしたがって内蔵無線を有効にしたら、本商品のネットワーク名 (SSID) を選択して接続し、本商品の暗号化キーを入力してください。

※設定の際に画面に出てくる「ネットワークキー」、「パスフレーズ」、「パスワード」とは、暗号化キーのことです。



WM3450RN

裏面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容 (SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。
※暗号化キー初期値は、0～9、a～f を使用



お知らせ

●無線 LAN 端末 (子機) の通信で、12、13ch を使用する場合は、オートチャンネルセレクトは使用できません。

●12、13ch は無線 LAN 端末 (子機) によっては使用できない、またはらくらく無線スタートの設定でプライマリ SSID に接続できない場合があります。
12、13ch を使用できない子機は 1～11ch を使用してください。また、らくらく無線スタートでプライマリ SSID に接続できないときは手動で設定してください。

●ニンテンドー DS (ニンテンドー DS Lite 含む) は、WEP にのみ対応していますので、ネットワーク名 (SSID) はセカンダリ SSID * を選択してください。暗号化キーは、無線 LAN 設定ラベル * に記載されている暗号化キーを設定してください。

※セカンダリ SSID は、無線 LAN 設定ラベル * に記載されているネットワーク名 (SSID) の末尾に「-gw」がついたものです。(暗号化方式は、128bit WEP です。)

なお、ニンテンドー DSi、ニンテンドー 3DS の場合は、AES、TKIP の暗号化方式で接続できる場合があります。詳しくはゲーム機の取扱説明書を参照してください。

Windows Vista® および Windows® 7/XP の「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する

無線 LAN 内蔵パソコンが Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワーク接続」で無線設定を行うことができます。

「ワイヤレスネットワーク接続」は、本商品の暗号化モード設定が「暗号化無効」または「WEP (64bit、128bit)」、「TKIP※」、「AES※」の場合に、ご利用いただけます。

※：TKIP、AES は、Windows Vista® または Windows® 7/XP (SP3) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

無線 LAN 内蔵パソコンの取扱説明書にしたがって無線スイッチを入れ、次の手順で設定してください。

① 設定する

「ワイヤレスネットワーク接続」の接続画面で本商品のネットワーク名 (SSID) を選択して接続し、本商品の暗号化キーを入力してください。設定手順は下記を参照してください。

- ・ Windows® 7 の場合 (➡P3-10)
- ・ Windows Vista® の場合 (➡P3-17)
- ・ Windows® XP (SP3) の場合 (➡P3-24)

② 本商品との通信状態を確認する (➡P3-28)



お知らせ

- 設定の際に画面に出てくる「ネットワークキー」、「パスフレーズ」、「パスワード」とは、暗号化キーのことです。

Windows[®] 7 の場合

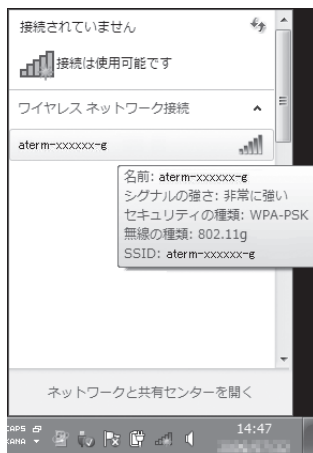
ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit)、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 通知領域 (タスクトレイ) に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする

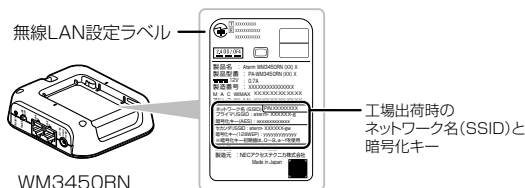
※ [スタート] (Windows[®] のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

2 本商品のネットワーク名 (SSID) にカーソルを合わせ、「セキュリティの種類」の表示を確認する

- ・セキュリティが設定されている場合 (「WEP」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」など)
→ <本商品に暗号化が設定されている場合> (☛P3-11) へ
- ・「セキュリティの設定が無効」と表示されている場合
→ <本商品に暗号化が設定されていない場合> (☛P3-12) へ



- ※工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、本商品裏面に記載されています。
→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末 (子機) から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。(セカンダリ SSID は、本商品裏面のラベルに記載されています。)

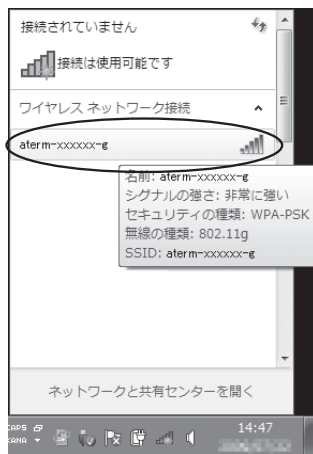


裏面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容 (SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。
※暗号化キー初期値は、0～9、a～f を使用

- ※本商品のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[ネットワークと共有センターを開く] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックして「手動で設定する場合」(☛P3-13) の手順 2 へ進みます。

<本商品に暗号化が設定されている場合>

3 本商品のネットワーク名 (SSID) をクリックする



4 【接続】 をクリックする

※ 接続に失敗した場合は、[閉じる] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センターを開く] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [はい] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

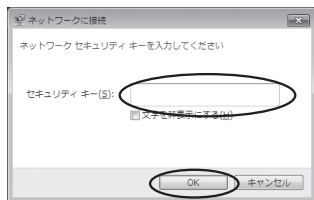
上記の手順が完了したら、手順1 (➡P3-10) から接続し直してください。



5 【セキュリティ キー】に暗号化キーを入力して、[OK] をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(●P3-10)

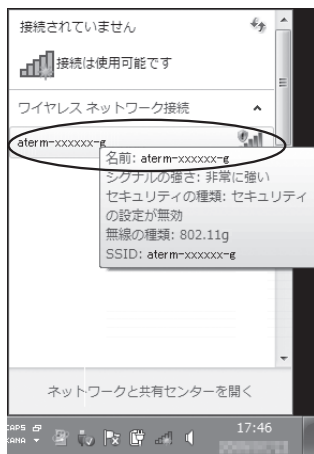
※本商品で暗号化モードを WEP、暗号化キー番号の 2～4 番を使用している場合は、[キャンセル] をクリックして、「手動で設定する場合」(●P3-13)へ進みます。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P3-28)で確認してください。

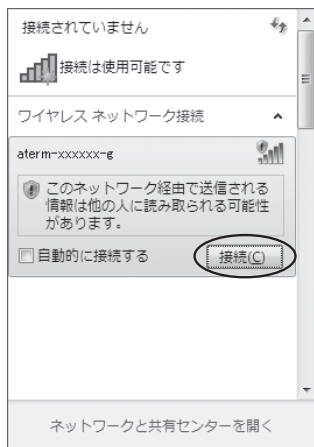
<本商品に暗号化が設定されていない場合>

3 本商品のネットワーク名 (SSID) をクリックする



4

【接続】をクリックする



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(←P3-28)で確認してください。

●手動で設定する場合

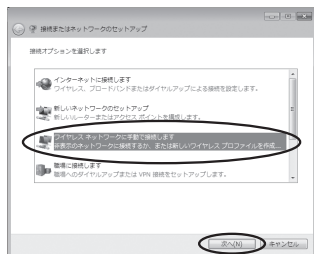
1

通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、【ネットワークと共有センターを開く】－【新しい接続またはネットワークのセットアップ】をクリックする

※ [スタート] (Windows® のロゴボタン) － [コントロールパネル] － [ネットワークとインターネット] － [ネットワークと共有センター] － [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする方法もあります。

2

【ワイヤレスネットワークに手動で接続します】を選択し、【次へ】をクリックする



(次ページに続く)

3

表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(●P3-10)

〈本商品の暗号化モードがTKIPまたはAESの場合〉

- ① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WPA- パーソナル] または [WPA2- パーソナル] を選択する
- ③ [暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する
- ④ [セキュリティ キー] に本商品の暗号化キーを入力する
※暗号化キーは半角で、8～63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。
※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。

【8～63 桁の場合】英数記号 (0～9、a～z、A～Z、下記の記号)

!	%)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	`	-
\$	(.	:	>]	{	

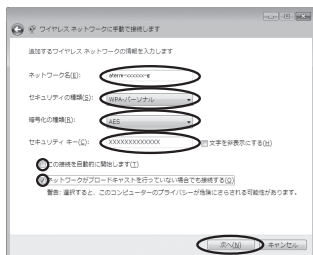
※ [] (バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数 (0～9、a～f、A～F)

- ⑤ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
- ⑥ 本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
- ⑦ [次へ] をクリックする

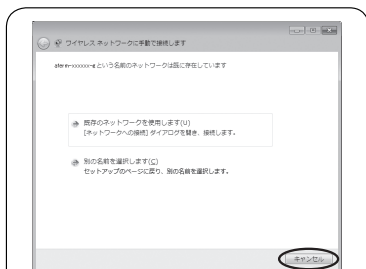
〈本商品の暗号化モードが WEP の場合〉

- ① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WEP] を選択する
- ③ [セキュリティ キー] に本商品の暗号化キーを入力する
ASCII 文字 / 16 進数の区別は入力された文字列の長さをもとに自動識別されます。
 - ・ ASCII 文字の場合：
 - 英数字 5 文字：
 - 本商品に 64bitWEP を設定している場合
 - 英数字 13 文字：
 - 本商品に 128bitWEP を設定している場合
 - ・ 16 進数の場合：
 - 0～9・a～f で 10 文字：
 - 本商品に 64bitWEP を設定している場合
 - 0～9・a～f で 26 文字：
 - 本商品に 128bitWEP を設定している場合
 - ④ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
 - ⑤ 本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
 - ⑥ [次へ] をクリックする



4

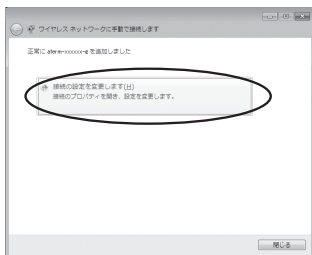
【接続の設定を変更します】をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センターを開く] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) をクリックして右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [はい] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

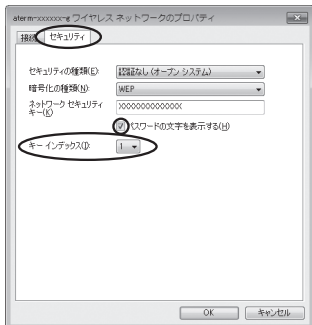
上記の手順が完了したら、P3-13の手順1から接続し直してください。



5

【セキュリティ】タブをクリックして設定内容を確認する

- ※ [パスワードの文字を表示する] にチェックを入れると、パスワードが確認できます。
- ※ 本商品の暗号化モードが WEP の場合は、[キーインデックス] で本商品に設定したキー番号を選択します。



※画面は、本商品の暗号化モードが WEP の場合の例です。

(次ページに続く)

6

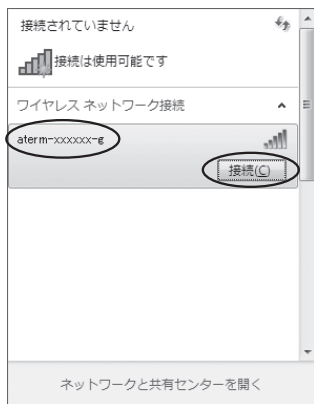
[OK] をクリックする

7

[閉じる] をクリックする

8

通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックして、本商品のネットワーク名（SSID）を選択し、**[接続]** をクリックする



以上で本商品との無線設定は完了です。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P3-28)で確認してください。

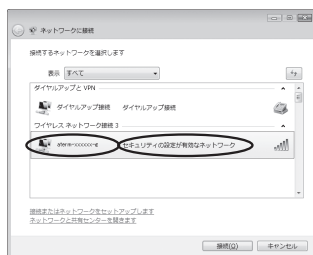
Windows Vista® の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit)、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [ネットワーク] - [ネットワークと共有センター] - [ネットワークに接続] をクリックする

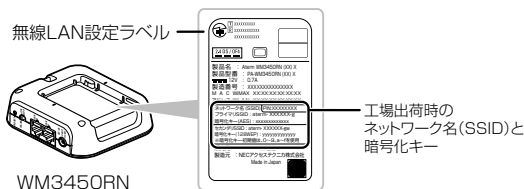
※通知領域 (タスクトレイ) に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

2 本商品のネットワーク名 (SSID) をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する



- ・「セキュリティの設定が有効なネットワーク」と表示されている場合
→<本商品に暗号化が設定されている場合> (●P3-18) へ
- ・「セキュリティの設定が有効でないネットワーク」と表示されている場合
→<本商品に暗号化が設定されていない場合> (●P3-20) へ

※工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、本商品裏面に記載されています。
→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末 (子機) から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。(セカンダリ SSID は、本商品裏面のラベルに記載されています。)



WM3450RN

裏面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容 (SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。
※暗号化キー初期値は、0～9、a～f を使用

※本商品のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[接続またはネットワークをセットアップします] をクリックして「手動で設定する場合」(●P3-21) の手順 2 へ進みます。

<本商品に暗号化が設定されている場合>

3 [接続] をクリックする

※接続に失敗した場合は、[閉じる] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センター] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [OK] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順1 (●P3-17) から接続し直してください。

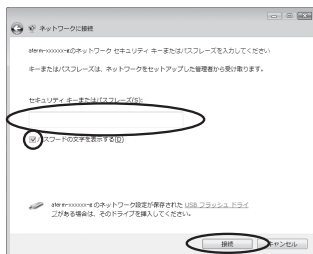


4 [セキュリティ キーまたはパスワード] に暗号化キーを入力して、[接続] をクリックする

※「パスワードの文字を表示する」にチェックを入れると、入力文字が表示できます。

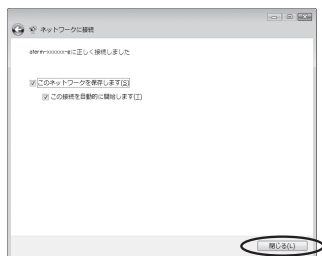
※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(●P3-17)

※本商品で暗号化モードを WEP、暗号化キー番号の2~4番を使用している場合は、[キャンセル] をクリックして、「手動で設定する場合」(●P3-21)へ進みます。



「アクセスポイントの構成ボタンを押してください」と表示された場合は、画面内の「代わりに、ネットワークキーまたはパスワードを入力する必要があります」をクリックしてください。

5 【閉じる】をクリックする



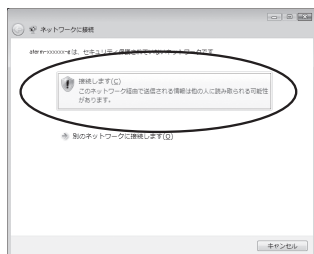
本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P3-28)で確認してください。

<本商品に暗号化が設定されていない場合>

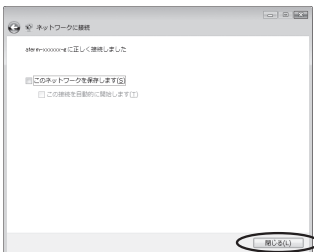
3 【接続】をクリックする




4 【接続します】をクリックする



5 【閉じる】をクリックする



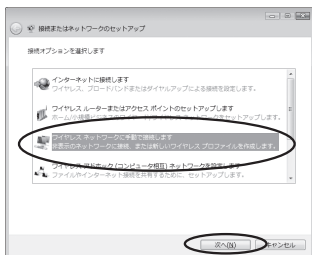
 本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(▶P3-28)で確認してください。

●手動で設定する場合

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [ネットワーク] - [ネットワークと共有センター] - [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする

※通知領域 (タスクトレイ) に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークと共有センター] - [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする方法もあります。

2 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする

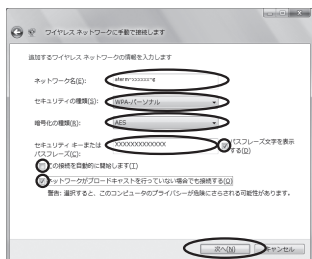


3 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(P3-17)

〈本商品の暗号化モードがTKIPまたはAESの場合〉

- ① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ② [セキュリティの種類] で[WPA-パーソナル] または [WPA2-パーソナル] を選択する
- ③ [暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する



- ④ [セキュリティ キーまたはパスワード] に本商品の暗号化キーを入力する
 - ※ [パスワードを表示する] にチェックを入れると、パスワードが確認できます。
 - ※ 暗号化キーは半角で、8～63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します。
 - ※ 暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8～63桁の場合】 英数記号 (0～9、a～z、A～Z、下記の記号)

!	%)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	`	~
\$	(,	:	>]		

※ 「\」 (バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64桁の場合】 16進数 (0～9、a～f、A～F)

- ⑤ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
- ⑥ 本商品でESS-ID ステルス機能 (SSIDの隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
- ⑦ [次へ] をクリックする

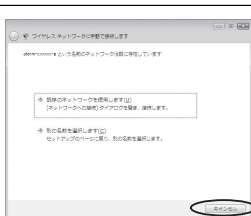
(次ページに続く)

〈本商品の暗号化モードが WEP の場合〉

- ① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WEP] を選択する
- ③ [セキュリティ キーまたはパスフレーズ] に本商品の暗号化キーを入力する
ASCII 文字 / 16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
 - ・ ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合
 - ・ 16 進数の場合：
0 ~ 9 ・ a ~ f で 10 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
0 ~ 9 ・ a ~ f で 26 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合
- ④ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
- ⑤ 本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
- ⑥ [次へ] をクリックする

4

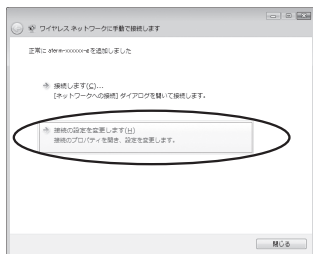
【接続の設定を変更します】をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

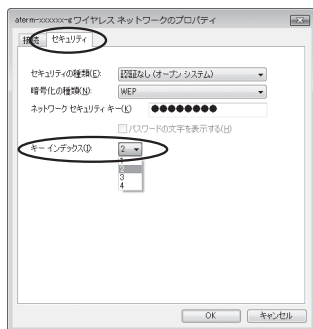
- ① [ネットワークと共有センター] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [OK] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P3-21 の手順 1 から接続し直してください。



5 【セキュリティ】タブをクリックして
設定内容を確認する

※本商品の暗号化モードが WEP の場合は、
【キーインデックス】で本商品に設定した
キー番号を選択します。

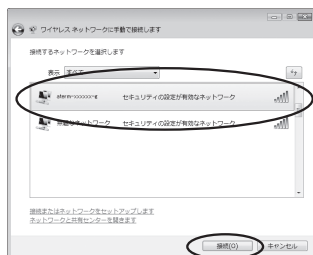


※画面は、本商品の暗号化モードが
WEP の場合の例です。

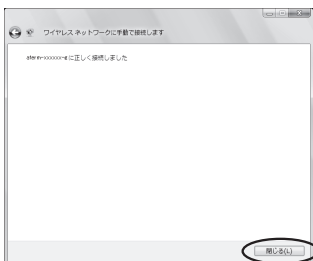
6 【OK】をクリックする

7 【接続します】をクリックする

8 本商品のネットワーク名 (SSID) を
選択し、【接続】をクリックする



9 【閉じる】をクリックする



以上で本商品との無線設定は完了です。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(P3-28)で確認してください。

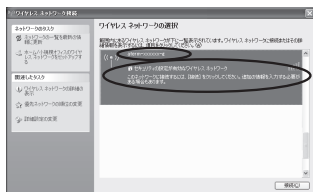
Windows® XP (SP3) の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit)、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

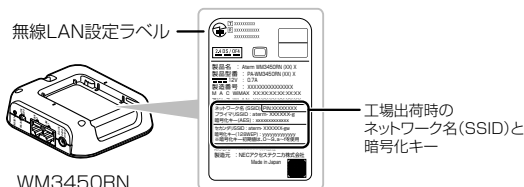


- 2 本商品のネットワーク名 (SSID) をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する



- ・「セキュリティの設定が有効なワイヤレスネットワーク」と表示されている場合
→<本商品に暗号化が設定されている場合> (☛P3-25) へ
- ・「セキュリティで保護されていないワイヤレスネットワーク」と表示されている場合
→<本商品に暗号化が設定されていない場合> (☛P3-25) へ

※工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、本商品裏面に記載されています。
→WEP にのみ対応している無線 LAN 端末 (子機) から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。(セカンダリ SSID は、本商品裏面のラベルに記載されています。)



WM3450RN

裏面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容 (SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。
※暗号化キー初期値は、0~9、a~f を使用

※本商品のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[詳細設定の変更] をクリックして、「手動で設定する場合」の手順 3 (☛P3-26) へ進みます。それでも接続できない場合には、本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を解除してください。

<本商品に暗号化が設定されている場合>

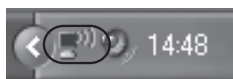
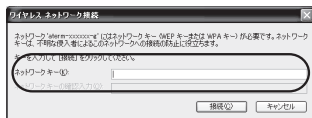
3 【接続】をクリックする

4 【ネットワークキー】に暗号化キーを入力して【接続】をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(●P3-24)

※本商品で暗号化モードをWEP、暗号化キー番号の2～4番を使用している場合は、【キャンセル】をクリックして、「手動で設定する場合」(●P3-26)へ進みます。

5 パソコンの画面右下の通知領域(タスクトレイ)で正しく接続されたことを確認する



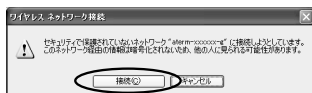
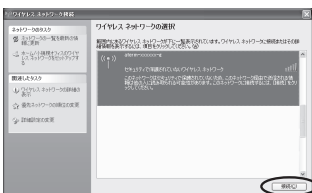
➡ 本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P3-28)で確認してください。

<本商品に暗号化が設定されていない場合>

3 【接続】をクリックする

4 次の画面が表示された場合は、【接続】をクリックする

5 パソコンの画面右下の通知領域(タスクトレイ)で正しく接続されたことを確認する

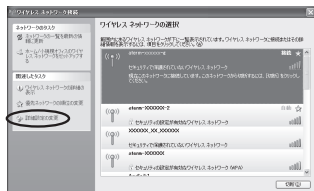


➡ 本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P3-28)で確認してください。

●手動で設定する場合

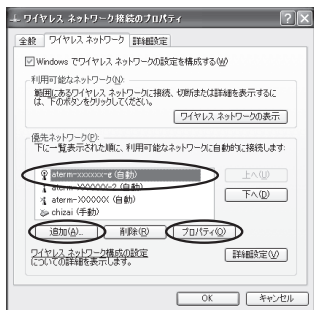
1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

2 [詳細設定の変更] をクリックする



3 [ワイヤレスネットワーク] タブをクリックし、本商品のネットワーク名 (SSID) をクリックして、[プロパティ] をクリックする

※ネットワーク名 (SSID) が表示されていない場合は、[追加] をクリックする



4 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(●P3-24)

〈本商品の暗号化モードが TKIP または AES の場合〉

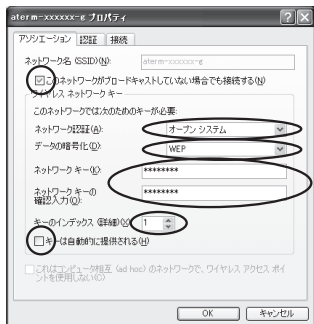
① [ネットワーク認証] で [WPA-PSK] または [WPA2-PSK] を選択する

※ [WPA2-PSK] は、[WPA-PSK] に対応した無線 LAN 端末 (子機) でのみ選択できます。

② [データの暗号化] で [TKIP] または [AES] を選択する

③ [ネットワークキー] を入力し、同じものを [ネットワークキーの確認入力] に再入力する

※暗号化キーは半角で、8～63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。



※画面は、本商品の暗号化モードが WEP の場合の例です。

3-5 Windows Vista® および Windows® 7/XPの「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する

※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。(半角で入力します。)

【8～63桁の場合】英数記号(0～9、a～z、A～Z、下記の記号)

!	%)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	`	~
\$	(.	:	>]	{	

※「\」(バックスラッシュ)はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64桁の場合】16進数(0～9、a～f、A～F)

- ④本商品でESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)を設定している場合は、[このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する]のチェックを入れる
- ⑤[OK]をクリックする

〈本商品の暗号化モードがWEPの場合〉

- ①[ネットワーク認証]で[オープンシステム]を選択する
- ②[データの暗号化]で[WEP]を選択する
- ③[キーは自動的に提供される]のチェックを外す
- ④[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ASCII文字の場合:

英数字5文字:

本商品に64bitWEPを設定している場合

英数字13文字:

本商品に128bitWEPを設定している場合

・16進数の場合:

0～9・a～fで10文字:

本商品に64bitWEPを設定している場合

0～9・a～fで26文字:

本商品に128bitWEPを設定している場合

- ⑤本商品の暗号化キー番号の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する
- ⑥本商品でESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)を設定している場合は、[このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する]のチェックを入れる
- ⑦[OK]をクリックする

5 [OK] をクリックする



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P3-28)で確認してください。

本商品との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、[ネットワークと共有センターを開く]をクリックする

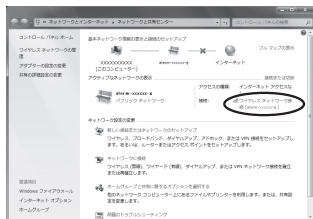
※Windows Vista®の場合は、[スタート]（Windows®のロゴボタン）－[ネットワーク]－[ネットワークと共有センター]をクリックします。

※Windows® XPの場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックします。

2 [ワイヤレスネットワーク接続] をクリックする

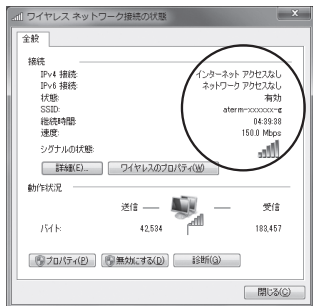
※Windows Vista®の場合は、「状態の表示」をクリックします。

※Windows® XPの場合は、[状態]をクリックし、[全般] タブをクリックします。



3 無線設定が正しく行われていることを確認する

- ・ [状態] が「有効」になっていること（Windows® XPの場合は、[接続] になっていること）
- ・ [速度] が表示されていること（表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。）



※画面はWindows® 7の場合の例です。

4 [閉じる] をクリックする



4

クイック設定 Web の 使いかた

4-1	クイック設定 Web の使いかた.....	4-2
-----	-----------------------	-----

クイック設定 Web は、本商品の基本的な設定や詳細な設定を行いたいときに利用します。WWW ブラウザの画面で設定します。

設定方法などの詳細は、別紙に記載のホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使い方」を参照してください。



お知らせ

- クイック設定 Web が利用できる WWW ブラウザについては、「動作確認済みの WWW ブラウザ」(P4-3) を参照してください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
- クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。

お願い

- クイック設定 Web の設定は、[設定] をクリックしたあと [保存] をクリックしてからでないと保存されません。
- 無線 LAN 接続でクイック設定 Web を表示させる場合は、プライマリ SSID に接続してください。

クイック設定 Web をご使用になる前に

クイック設定 Web をご使用になる前に、以下を確認してください。

● WM345ORN とパソコンとの接続

- 「つなぎかたガイド」を参照して無線接続を完了させておいてください。
- IP アドレスが正しく取得できているか確認してください。

< IP アドレスの確認方法 >

■ Windows[®] 7/Windows Vista[®] の場合

- ① [スタート] (Windows[®] のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする
- ② [ipconfig] と入力して [Enter] キーを押す
- ③ IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

■ Windows[®] XP の場合

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする
- ② [ipconfig] と入力して [Enter] キーを押す
- ③ IP アドレス (IP Address) が「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

■ Mac OS X の場合

以下は Mac OS X v10.6 Snow Leopard の場合の例です。

- ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- ② [ネットワーク] 画面で [AirMac] を選択し、[詳細] をクリックする
- ③ [TCP/IP] タブをクリックする
- ④ IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

■ iOS の場合

以下は iOS 4.2 の場合の例です。

- ① 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする
- ② 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする
- ③ 「ワイヤレスネットワークを選択...」から、チェックが入っている接続中のネットワーク名 (SSID) の右側にある「>」ボタンをタップする
- ④ IPアドレスが「192.168.0.XXX」(または「192.168.1.XXX」) になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

● JavaScript の設定

→ P1-16 を参照して、JavaScript の設定を有効に設定してください。

● 動作確認済みの WWW ブラウザ

■ Windows® 7 の場合

Internet Explorer 8.0/9.0 に対応
Firefox 3.6 に対応
Google Chrome 11 に対応

■ Windows Vista® の場合

Internet Explorer 7.0/8.0/9.0 に対応
Firefox 3.6 に対応
Google Chrome 11 に対応

■ Windows® XP (SP3) の場合

Internet Explorer 7.0/8.0 に対応
Firefox 3.6 に対応
Google Chrome 11 に対応
Opera 10.0 に対応

■ Mac OS X v10.5/v10.6/v10.7 の場合

Safari 4.0/5.0 に対応
Firefox 3.6 に対応
Opera 10.0 に対応

■ iOS 4.2 の場合

Safari 5.0 に対応

※ iOS で設定する場合は、本商品に無線 LAN 接続したあとに行ってください。

※ 下記内容は設定できません。(2011 年 12 月現在)

- ・ [設定値の保存 & 復元] 画面の「設定値の保存」、「設定値の復元」
- ・ [ファームウェア更新] 画面の「更新方法：ローカルファイル指定」
- ・ [通信情報ログ] 画面の「ファイルへ保存」

〈画面例〉

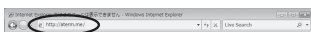


クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。

※ 事前に、本商品とパソコンの接続が完了していることを確認してください。

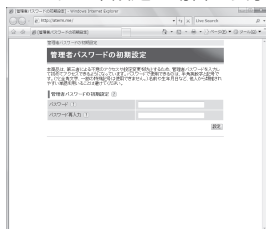
- ① パソコンなどを起動する
- ② WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に「http://aterm.me/」と入力して、クイック設定 Web のページを開く



※本商品の IP アドレスを入力して開くこともできます。

(工場出荷時は 192.168.0.1 です。) 例: http://192.168.0.1/

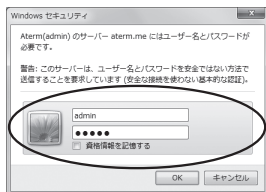
- ③ 次の画面が表示された場合は、画面にしたがって管理者パスワード (任意の文字列) を決めて、下の控え欄に記入する
※この画面は、管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。



- 管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化してすべての設定がやり直しになります。

管理者パスワード控え欄

- ④ ③で控えた管理者パスワードを画面に入力し、[設定] をクリックする
- ⑤ ユーザー名とパスワードを入力する
※「ユーザー名」(上段) には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段) には③で控えた管理者パスワードを入力してください。



- ⑥ [OK] をクリックする
- ⑦ クイック設定 Web が表示される

MEMO



5

契約をする

5-1	WiMAX 回線契約をする	5-2
-----	---------------	-----

本商品を WiMAX 接続する場合、WiMAX 通信サービス事業者とのサービス加入契約が必要です。お求めの際、事前にご契約された場合でも、登録作業が必要な場合があります。詳しくは、ご契約のサービス事業者にお問い合わせください。

WM3450RN の接続方法については、「つなぎかたガイド」の STEP1 「本商品を接続しよう」を参照してください。

なお、Windows Vista[®] および Windows[®] 7/XP の無線 LAN 内蔵パソコンから「ワイヤレスネットワーク接続」で接続する場合は、P3-9 を参照してください。

お願い

- サインアップが完了するまで、本商品の電源を切ったりブラウザを閉じないでください。サインアップの失敗などでブラウザを閉じた場合は、はじめからやり直してください。
- 本商品以外の無線 LAN アクセスポイント（親機）で、無線 LAN によるインターネット接続をしている場合、本商品からのインターネット接続が確認できるまで、本商品以外の無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切っておいてください。

サインアップする

本商品を起動し、インターネットに接続したとき下記の画面が表示される場合があります。ポータルサイト画面が表示された場合、サービス加入契約が完了していませんので、画面の案内にしたがってサービス加入契約を完了させてください。

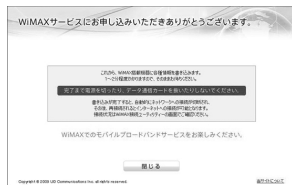
※ サインアップ中は本商品の WiMAX ランプが緑（1 秒）、橙（1 秒）の交互点滅をしています。

申し込み終了の画面が表示された場合、そのまましばらくお待ちください。情報の書き込みをして、再起動します。

<ポータルサイト画面>



<申し込み終了画面>



（画面デザインおよび内容は変更になる場合があります。）



サービス加入契約完了後、本商品が情報の書き込みを行っている場合があります。書き込み中は WiMAX ランプが消灯し、完了すると再起動します。POWER ランプが緑点灯し、各ランプが順次点灯するまで本商品の電源は絶対に切らないでください。




6



便利な機能

6-1	その他の便利な機能	6-2
-----	-----------	-----



VPN パススルー機能

VPN クライアントのソフトウェアを使って会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN (Virtual Private Network: 仮想閉域網) に PPTP/IPsec で接続できます。本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド」を参照してください。


IP パケットフィルタリング

宛先/送信元 IP アドレスやポート番号、パケットの方向などを指定して、パケットの通過を制限する機能です。不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。
( 機能詳細ガイド)

ポートマッピング

あらかじめ固定的に使用するポート番号と転送先パソコンを指定することで、ネットワーク対応ゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションの通信が使用できます。
( 機能詳細ガイド)

UPnP 機能

本商品とパソコンの UPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) 機能を利用して、TV 電話をするなど、パソコンの Windows Live Messenger、Windows Messenger の機能をご利用になることができます。本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド」を参照してください。
ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnP の設定をすることで、利用ができます。



お知らせ

●UPnP 機能は、Windows Vista[®]、Windows[®] 7/XP のパソコンでのみご利用になれます。



7

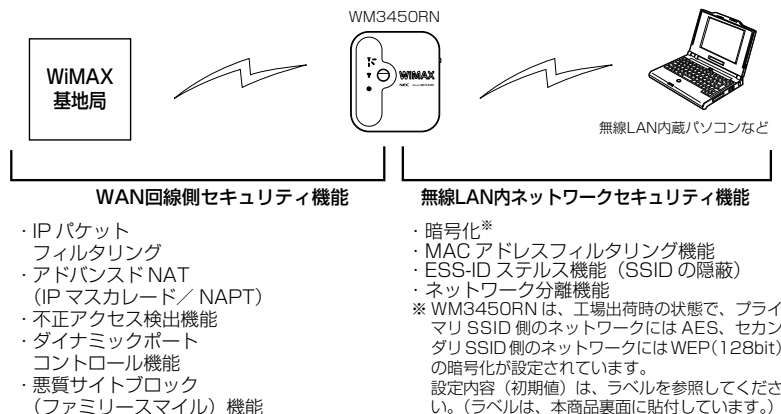
セキュリティ対策をする

- 7-1 セキュリティ対策をする……………7-2
- 7-2 悪質サイトブロック（ファミリースマイル）
機能を設定する……………7-3

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（WiMAX 網）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN 回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線 LAN 内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

セキュリティ対策の詳細については、「機能詳細ガイド」を参照してください。



② セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることとなります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。また、ウイルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。
- 無線 LAN 端末 (子機) による無線通信を行う場合は、無線 LAN 内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線 LAN 内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などをされることがあります。

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能を設定する

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能は、ネットスター株式会社の提供する「インターネット悪質サイトブロック ファミリースマイル」に対応する機能です。ネットスター株式会社とライセンス契約を行い、パソコンなどのインターネット接続端末にブロックレベルを設定することで、悪質なサイトや有害なサイトの表示をブロックし、お客様やお客様のご家族をこれらの危険なサイトから守ることができます。

※「インターネット悪質サイトブロック ファミリースマイル」は、ネットスター株式会社の提供する有償サービスです。本サービスをご利用になった結果に対して、当社は責任を負いかねます。

※「インターネット悪質サイトブロック ファミリースマイル」は、以下のような場合は無効になりますのでご注意ください。

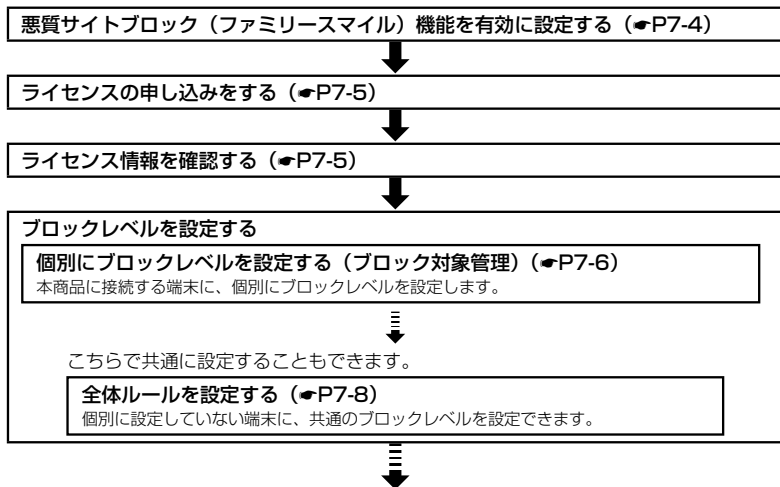
・本商品で、VPNパススルー機能が設定されている端末

上記以外にも無効になる場合があります。P7-7の「お知らせ」に記載の一覧表をご覧ください。

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能をご利用になるには、本商品の設定とネットスター株式会社へのライセンスのお申し込みが必要です。

なお、本商品のお客様向けに60日間のお試し期間が設けられています。

ご利用までの流れは以下のとおりです。



以下の設定は、必要に応じて行ってください。

ブロックレベルカスタム設定（☛P7-9）

独自のブロックレベルを作成することができます。

例外サイトを登録する（☛P7-10）

本サービスでブロック対象となっていないサイトの表示を制限したり、意図せずブロックされたサイトをブロック対象から外すことができます。

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能の設定

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能をご利用になる場合は、次のように設定とライセンスの申し込みを行ってください。

お知らせ

- 本機能を設定すると、サイトにアクセスしてからページを表示するまでに時間がかかる場合があります。

本商品の悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能を有効に設定する

ライセンス契約の有無によらず、本機能を「使用する」に設定していないと、本サービスは利用できません。

- 1 クイック設定 Web を起動する（☛P4-4）
- 2 「悪質サイトブロック」－【ファミリースマイル設定】を選択する
- 3 【ファミリースマイル機能】の【使用する】にチェックを入れる
- 4 【設定】をクリックする
- 5 【保存】をクリックする



- 6 「ライセンスの申し込みをする」（☛P7-5）へお進みください。



ライセンスの申し込みをする

本サービスの利用にはライセンスの申し込みが必要です。以下の手順でライセンスの申し込みを行ってください。

1 クイック設定 Web を起動する（●P4-4）

2 「悪質サイトブロック」－「ライセンス管理」を選択し、「お手続き画面へ」をクリックする

ネットスター株式会社のライセンス申し込みページ画面が表示されます。
画面にしたがって、設定を行ってください。



「ライセンス情報を確認する」（●下記）へお進みください。

ライセンス情報を確認する

ライセンス状態は、以下の手順によりいつでも確認することができます。ただし、ライセンス登録後、その情報が反映されるまで 10 分程度かかる場合があります。

1 クイック設定 Web を起動する（●P4-4）

2 「悪質サイトブロック」－「ライセンス管理」を選択し、「ライセンス情報確認」をクリックしてライセンス情報を確認する

- ※ライセンス情報が「正規ライセンス有効」と「試用ライセンス有効」の場合に悪質サイトブロック（ファミリースマイル）の機能が有効になります。
- ※48 時間の周期で自動的にライセンス情報を取得し、「正規ライセンス無効」または「試用ライセンス無効」の状態になると、悪質サイトブロック（ファミリースマイル）の機能が使用不可能となります。ライセンスの期限が切れた場合は、ライセンスの更新を行ってください。



「個別にブロックレベルを設定する（ブロック対象管理）」（●P7-6）へお進みください。

- ※「全体ルールを設定する」（●P7-8）にて、本商品に接続する端末に共通の設定をすることもできます。

個別にブロックレベルを設定する（ブロック対象管理）

本商品に接続する端末それぞれに、個別にブロックレベルを設定します。

※ ここで個別に設定していない端末には、「全体ルールを設定する」(●P7-8)で共通のブロックレベルを設定することもできます。

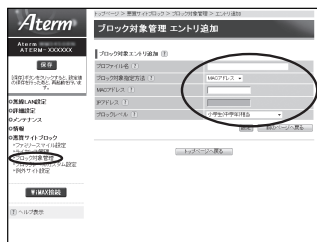
1 クイック設定 Web を起動する (●P4-4)

2 「悪質サイトブロック」－「ブロック対象管理」を選択し、「追加」をクリックする

※ブロック対象エントリ項目の削除方法

「ブロック対象管理 エントリー一覧」画面で表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の「削除」をクリックすることで削除できます。

3 ブロック対象となる端末のブロックレベルを設定する



プロファイル名 : 任意の文字を入力します。
※ 入力可能な文字は、半角 32 文字以内（「？」を除く）、
全角 16 文字以内です。

ブロック対象指定方法 : ブロック対象となる端末の指定方法を MAC アドレス、IP アドレスから選択します。（初期値：MAC アドレス）

MAC アドレス : 「ブロック対象指定方法」が「MAC アドレス」の場合、ブロック対象となる端末の MAC アドレスを入力します。

IP アドレス : 「ブロック対象指定方法」が「IP アドレス」の場合、ブロック対象となる端末の IP アドレスを入力します。
[XX:XX:XX:XX:XX:XX] 形式で入力してください。

ブロックレベル : 小学生（中学年）相当／小学生（高学年）相当／中学生相当／高校生相当／インターネットあんしんコース／インターネットエキスパートコース／カスタム 1～4 / 制限なしから選択します。（初期値：小学生（中学年）相当）

※ 「カスタム 1」～「カスタム 4」は、「ブロックレベルカスタム設定」(●P7-9)にて設定した独自のブロックレベルです。

4 「設定」をクリックする

5 ブロック対象となる端末が複数ある場合は、手順 2～4 を繰り返して設定する

6 【前のページに戻る】をクリックする

【ブロック対象管理 エントリー一覧】画面に、設定した内容が表示されていることを確認します。

7 【保存】をクリックする



お知らせ

- 端末の IP アドレスが、DHCP によって別の端末に割り当てられてしまうことを防ぐため、クイック設定 Web の「詳細設定」－ [DHCP 固定割当設定] で、インターネット接続端末に固有の IP アドレスを割り当てておくことをお勧めします。設定方法は、「㊦機能詳細ガイド」(P2) をご覧ください。
- 個別の端末にブロックレベルを設定する場合、本商品との接続方法やブロック対象指定方法によっては、設定できない場合があります。(※ 1)
下記はその一覧です。(2011 年 12 月現在)
最新情報は、「㊦機能詳細ガイド」(P2) を参照してください。

本商品との接続方法	ブロック対象指定方法	ご利用可否
<p>本商品</p> <p>有線接続</p>	MAC アドレス	○
	IP アドレス	
<p>イーサネット コンバータ</p> <p>無線接続</p>	MAC アドレス	○
	IP アドレス	
<p>(参考)</p> <p>本商品</p> <p>ローカル ルータ</p> <p>ローカルルータ経由の場合</p>	MAC アドレス	× (※ 2)
	IP アドレス	

(※ 1) 全体ルール設定 (P7-8) は利用可能。

(※ 2) 経由する装置 (ローカルルータ) のアドレスを設定すれば、接続するすべての端末で利用可能。

全体ルールを設定する

「ブロック対象管理」(☛P7-6)で個別に設定していない端末に、共通のブロックレベルを設定することができます。

1 クイック設定 Web を起動する (☛P4-4)

2 「悪質サイトブロック」 - 「ファミリースマイル設定」 を選択する

3 「全体ルール設定」で「ブロックレベル」を選択する



4 「設定」 をクリックする

5 「保存」 をクリックする

ブロックレベルカスタム設定

独自のブロックレベルを作成することができます。（最大 4 種類）

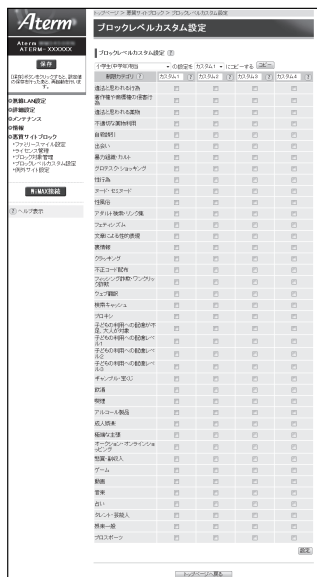
1 クイック設定 Web を起動する（P4-4）

2 「悪質サイトブロック」 - 「ブロックレベルカスタム設定」を選択する

3 ブロックレベル（カテゴリ 1～4）ごとに、ブロックしたいカテゴリを選択する

※既存のブロックレベルの設定内容をコピーすることができます。その場合は、設定画面上方のリストボックスで、既存のブロックレベルとコピー先を選択し、[コピー] をクリックしてください。

※ブロックレベル名は変更することができます。その場合は、見出し行に入力します。（最大半角 16 文字、全角 8 文字まで）ただし、他のブロックレベル名と同じ名前は登録できません。



4 [設定] をクリックする

5 [保存] をクリックする

例外サイトを登録する

本サービスでブロック対象となっていないサイトの表示を制限したり、逆に、意図せずブロックされたサイトをブロック対象から外すために、そのサイトの URL を例外サイトとして登録することが可能です。

1 クイック設定 Web を起動する (P4-4)

2 「悪質サイトブロック」－「例外サイト設定」を選択し、[追加] をクリックする

※ 設定した例外サイトの削除の方法

「例外サイト設定 エントリー一覧」画面で表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の「削除」をクリックすることで削除できます。

3 種別を選択し、例外サイトを入力する

種別：「許可」または「禁止」を選択します。

例外サイト：URL を入力してください。

(例) http://121ware.com/aterm/

 ホスト名 パス名

※ 入力可能な文字は下記の通りです。

([http://] 以降の「/」「#」「?」がホスト名とパス名の区切りになります。)

ホスト名：半角最大 128 文字まで
(「:」は除く。)

パス名：半角最大 256 文字まで
(ホスト名との区切り文字「/」「#」「?」を含む。ただし「#」「?」はパス名の末尾不可。)

※ URL の先頭や最後尾に「*」を指定する、ワイルドカード指定が可能です。ワイルドカードとは、ファイル名やディレクトリ名を指定するときを使う、「任意の文字」を意味する特殊文字です。任意の長さ・文字を意味します。



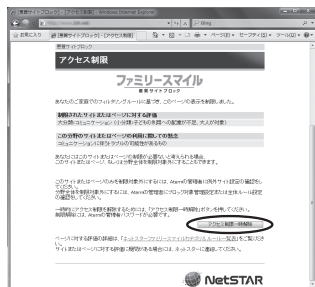
4 「設定」をクリックする

5 本機能の対象になるサイトが複数ある場合は、手順 2～4 を繰り返して設定する

6 「保存」をクリックする

ブロック画面の一時解除方法

本サービスでブロック対象のサイトにアクセスすると、ブロック画面（アクセス制限画面）が表示されます。



※画面は一例です

【アクセス制限一時解除】をクリックして、クイック設定 Web 用のユーザ名と管理者パスワード（●P4-4）を入力すると、一時的にブロックを解除して、ブロック対象のサイトにアクセスすることができます。

※ 一時解除される時間は 30 分です。

※ 画像のみが規制されることがあります。その場合は画像に×印が表示されます。画像の一時解除はできません。

ネットスター株式会社 お問い合わせ先

「インターネット悪質サイトブロック ファミリースマイル」についての詳細は、下記 URL をご覧ください。

<http://netstar.jp/fs/>

※ E-mail のみの受け付けとなりますので、ご了承ください。

（土日祝祭日を除く 10：00～17：00）

「インターネット悪質サイトブロック ファミリースマイル」設定前のお問い合わせについて

- ・これからこのサービスの利用をお考えのお客様のご相談
- ・本サービスの申し込み方法について
- ・本サービスの仕組みやフィルタリング機能について
- ・本サービスの提供元ネットスター株式会社について

連絡先：sales_bb@netstar-inc.com

「インターネット悪質サイトブロック ファミリースマイル」設定後のお問い合わせについて

連絡先：shop_bb@netstar-inc.com

MEMO



8

バージョンアップをする

8-1 ファームウェアをバージョンアップする…8-2

ファームウェアをバージョンアップする

ファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、WM3450RN に新しい機能を追加したり、場合によっては、操作を改善します。

【用語】ファームウェア：本商品を動かすために組み込まれているソフトウェアのことです。

お願い

- ファームウェアのバージョンアップ中は絶対に WM3450RN の電源を切らないでください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

ファームウェアをバージョンアップする

らくらくスタートボタンによるバージョンアップ

本商品の POWER ランプが緑橙交互点滅（緑 3 秒、橙 0.5 秒間隔）した場合は、新しいファームウェアが存在しています。その場合、本商品のらくらくスタートボタンを使用してファームウェアの更新を行うことができます。

バージョンアップの際は、細い棒状のもの（つまようじなどの電気を通さない材質のもの）をご用意ください。RESET スイッチを押すときに使用します。

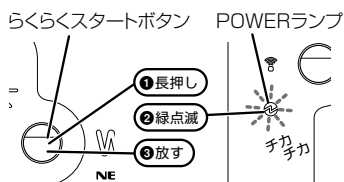
※ 本機能は、インターネットに接続されている必要があります。

※ 本機能は、「ファームウェア更新通知機能」の設定が「使用する」（初期値）に設定されている必要があります。（工場出荷時の状態では「使用する」に設定済みです。）

なお「ファームウェア更新通知機能」の設定は、クイック設定 Web の「詳細設定」－「その他の設定」－「補助設定」で行います。詳しくは、「機能詳細ガイド」を参照してください。

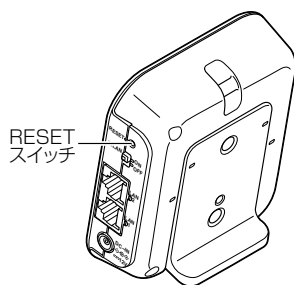
1 らくらくスタートボタンを長押しし（約6秒）、POWERランプが緑点滅になったら放す

設定中は、他の無線接続はいったん切断されます。



- 2 POWER ランプが緑点滅になってから 1 分以内に、細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で RESET スイッチを押し（約 1 秒）、放す（POWER ランプが橙点灯する）

ファームウェアがバージョンアップしている間は、POWER ランプが橙点灯します。緑点灯に変わったら、バージョンアップ完了です。



ファームウェアのワンタッチバージョンアップ

インターネットに接続された状態で、ホームページに新しいファームウェアが更新された場合に、クイック設定 Web のメニュー画面に【ファームウェア更新】のボタンが表示されます。

このボタンをクリックすることで、簡単にバージョンアップができます。

※ 本機能は、常に本商品の電源が入っており、かつインターネットに接続されている必要があります。

また、サーバ側の負荷分散のために更新情報の検出が数週間遅れる場合があります。本サービスは、予告なく変更あるいは終了する場合があります。詳しくは、別紙に記載のホームページをご覧ください。



お知らせ

- ファームウェアのバージョンアップ情報がある場合は、インターネット上のホームページを開く際に、バージョンアップ情報が自動的に告知されますので、画面の指示にしたがって、本商品のバージョンアップを行うことができます。（ただし、自動告知画面が表示されるのは、開こうとするホームページの URL がホスト名の場合のみです。）

表示される例：<http://www.nec.co.jp/>

表示されない例：http://www.nec.co.jp/xxx_xxx

自動更新（オンラインバージョンアップ）

クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。
本商品からインターネットに接続できている必要があります。

- 1 WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に「http://aterm.me/」と入力して、クイック設定 Web のページを開く
WM3450RN の IP アドレスを入力しても開きます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です)
例：http://192.168.0.1/
- 2 ユーザ名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする
- 3 「メンテナンス」の「ファームウェア更新」を選択する
- 4 「自動更新（オンラインバージョンアップ）」を選択する



- 5 「更新」をクリックする
- 6 次の画面が表示されるので、そのまましばらく待つ



WM3450RN の電源は、絶対に切らないでください。
→ AC アダプタは取り外さないでください。

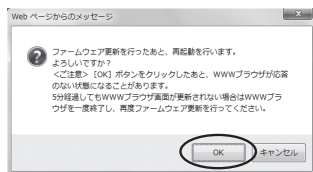


7 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、**[最新バージョンへ更新]** をクリックする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。[閉じる] をクリックして、クイック設定 Web を閉じます。



8 [OK] をクリックする

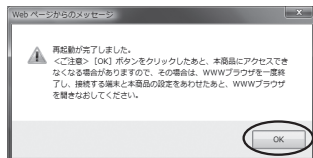


9 しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。X分ほどお待ちください」と表示される



WM3450RN の電源は、絶対に切らないでください。
→ AC アダプタは取り外さないでください。


10 [OK] をクリックする



ファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

ホームページから、ファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。

自動更新（オンラインバージョンアップ）にて、バージョンアップすることをお勧めします。（●P8-4）

ダウンロードしたファームウェアでのバージョンアップ方法は「機能詳細ガイド」を参照してください。


- 1 **最新のファームウェアをホームページからダウンロードする**
※ファームウェアをダウンロードした後、解凍してご利用ください。
※ホームページについては、本商品に添付の「お問い合わせ・アフターサービス」を参照してください。
- 2 **「更新方法」で「ローカルファイル指定」を選択する**
- 3 **【参照】をクリックする**
- 4 **ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する**
- 5 **【更新】をクリックする**
- 6 **【OK】をクリックする**



9

お困りのときには

- 9-1 トラブルシューティング.....9-2
- 9-2 初期化する.....9-12

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。
本書の他に、ホームページに掲載している電子マニュアル「機能詳細ガイド」(P2)の「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。

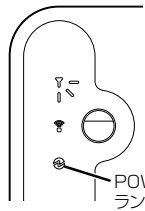
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、WM3450RNを初期化し(P9-12)、はじめから設定し直してみてください。

初期化を行うと本商品のすべての設定が、工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。(機能詳細ガイド)

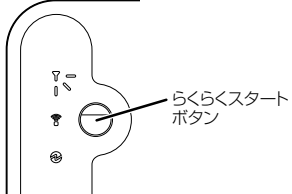

- ・ 設置に関するトラブル (P9-2)
- ・ WiMAX に関するトラブル (P9-3)
- ・ 添付の CD-ROM に関するトラブル (P9-11)

設置に関するトラブル

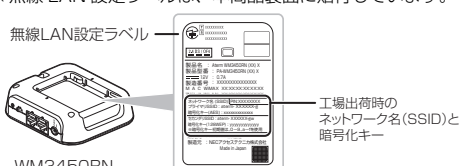
● WM3450RN の POWER ランプが消灯している

症 状	原因と対策
POWER ランプが消灯している 	電源が入っていません。 ● AC アダプタが外れている → AC アダプタを電源コンセントに差し込んでください。 ● AC アダプタがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている → 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。 パソコンの電源が切れると本商品に供給されている電源も切れてしまいます。 ● AC アダプタが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタをコンセントから外して別紙に示すお問い合わせ先にご相談ください。

WiMAX に関するトラブル

症状	原因と対策
WiMAX ポータルサイトが表示される	● WiMAX サービス加入契約が完了していません。画面の案内にしたがってサービス加入契約を完了させてください。なお、事前にご契約されているにもかかわらず、WiMAX ポータルサイト画面が表示されるときは、ご契約したサービス事業者にお問い合わせください。
WiMAX ポータルサイトの画面を途中で終了させてしまった	● 契約情報の入力が途中の場合は、いったんネットワークを切断後、再接続してください。再度 WiMAX ポータルサイトが表示されます。 → 契約情報を設定済みの場合は、そのまま処理が完了するまでお待ちください。
ネットワークに接続できない	● 他のネットワークデバイスで通信していると、WiMAX による通信が行えないことがあります。 → WiMAX 以外の通信は切断してください。
WiMAX ランプが赤点灯している	● ネットワーク接続に失敗しました。 → 表示される電波状態を確認して、電波状態の良い場所に移動してください。
WiMAX ランプが赤点滅している	● 契約情報の書き込みに失敗しました。 → 電源を入れなおしてください。
WiMAX ランプが消灯または赤点灯している	● らくらくスタートボタンを押してみてください（1 秒以内）。WiMAX のネットワークに再接続します。接続処理中は WiMAX ランプが緑点滅し、接続されると緑点灯します。  ● サービスエリア外または電波が弱い可能性があります。アンテナランプで表示される WiMAX 電界強度表示を確認して、電波状態の良い場所に移動してください。
WiMAX ランプが赤点灯、アンテナランプが 2 本点灯している 	● 電源を入れ直してください。 WM3450RN から AC アダプタのプラグをいったん取り外したあと、10 秒ほど待ってから、再び差し込みます。

● 無線 LAN 通信ができない

症状	原因と対策
WM3450RN に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● WM3450RN の WLAN ランプが緑点灯しているか確認する。 → 側面の WLAN ON/OFF 切替スイッチを ON にしてください。 ● 暗号化キーの設定が WM3450RN と無線 LAN 端末 (子機) とで一致しているかを確認してください。(㊟機能詳細ガイド) ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 → ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている場合があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ① ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートをあげる (アドレス : 192.168.0.*、TCP ポート番号 : 23/53/75/80、UDP ポート番号 : 69/161) ② ①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする ● 「らくらく無線スタート EX に関するトラブル」(●P9-7)も参照してください。
WM3450RN と無線 LAN 端末 (子機) 間の電波状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波の届く範囲まで無線 LAN 端末 (子機) を移動したり、WM3450RN や無線 LAN 端末 (子機) の向きをかえたりして電波状態を確認してください。
セカンダリ SSID が見つからない	<ul style="list-style-type: none"> ● IEEE802.11b に対応している無線 LAN 端末 (子機) によっては、セカンダリ SSID をサーチできない場合があります。この場合、SSID を直接設定することにより、接続可能となります。 例) 初期値の場合 プライマリ SSID : aterm-xxxxxx-g (無線 LAN 設定ラベル*に記載のネットワーク名 (SSID)) セカンダリ SSID : aterm-xxxxxx-gw (無線 LAN 設定ラベル*に記載のネットワーク名 (SSID) の末尾に「-gw」がついたもの) * 無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。 <div style="text-align: center;">  <p>無線LAN設定ラベル</p> <p>工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー</p> <p>WM3450RN</p> </div> <p>裏面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容 (SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。 * 暗号化キー初期値は、0~9、a~f を使用</p>

● パソコンに IP アドレスが設定されていない

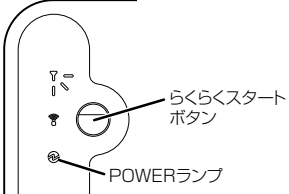
症 状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが設定されていない	<p>● パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも WM3450RN の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記の手順で IP アドレスを取り直してください。</p> <p>< IP アドレスの再取得 ></p> <p>< Windows[®] 7/Windows Vista[®] の場合 ></p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] (Windows[®] のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする ③ [ipconfig /release] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ④ [ipconfig /renew] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤ IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) <p>< Windows[®] XP の場合 ></p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする ② [ipconfig /release] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ③ [ipconfig /renew] を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ④ IP アドレス (IP Address) が「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) <p>< Mac OS X の場合 ></p> <p>以下は Mac OS X v10.6 Snow Leopard の場合の例です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アプリメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する ② [ネットワーク] 画面で [AirMac] を選択し、[詳細] をクリックする ③ [TCP/IP] タブをクリックする ④ [DHCP リースを更新] をクリックし、IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) <p>< iOS の場合 ></p> <p>以下は iOS 4.2 の場合の例です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする ② 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする ③ 「ワイヤレスネットワークを選択...」から、チェックが入っている接続中のネットワーク名 (SSID) の右側にある [>] ボタンをタップする ④ 「DHCP リースを更新」をタップする ⑤ 「DHCP リースを更新しますか？」をタップする <p>● 無線 LAN をご利用の場合は、「無線 LAN 通信ができない」(●P9-4) を参照して無線 LAN 通信を確立させてください。</p>

● クイック設定 Web に関するトラブル

症 状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://aterm.me」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● プロキシの設定をしていませんか → プロキシの設定をしている場合、受け付けが拒否されます。Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックする ② [LAN にプロキシサーバーを使用する]の[詳細設定]をクリックして、例外に「aterm.me」を入れる ● 代わりに IP アドレスを入れても表示できます。 ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(●P1-12) ● 無線接続してクイック設定 Web を表示させる場合、セカンダリ SSID に無線接続していると、クイック設定 Web は表示できません。(●P1-5) その場合は、AES の暗号化モードに対応した無線 LAN 端末（子機）からプライマリ SSID に無線接続してクイック設定 Web を表示してください。
WM3450RN のクイック設定 Web が開かない	<ul style="list-style-type: none"> ● JavaScript が無効に設定されている → WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(●P1-16) ● IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。(●P9-5)
WWW ブラウザで WM3450RN にアクセスすると、ユーザ名と管理者パスワードを要求される	<ul style="list-style-type: none"> ● WWW ブラウザで WM3450RN にアクセスすると、ユーザ名と管理者パスワードを要求されます。 → 「ユーザー名」(上段)には、「admin」を入力してください。「パスワード」(下段)には、WWW ブラウザで WM3450RN に最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。(●P4-4)
管理者パスワードを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● WM3450RN を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。(●P9-12)ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」- 「設定値の保存&復元」で以前の設定値をファイルに保存してであると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。(☺機能詳細ガイド)
WM3450RN のバージョンを確認したい	<ul style="list-style-type: none"> ● クイック設定 Web で確認することができます。「情報」- 「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。

症状	原因と対策
ブラウザからの応答がなくなりました	<ul style="list-style-type: none"> ●クイック設定 Web では、[設定] をクリックすると設定値は即時有効となりますので、[詳細設定] — [LAN 側設定]、または [無線 LAN 設定] — [無線 LAN 設定] の変更では、[設定] をクリックするとブラウザからの応答がなくなる場合があります。その場合は、いったんクイック設定 Web を終了させてください。(無線 LAN 設定を変更した場合は、本商品と無線 LAN 端末(子機)との無線設定を直しして、接続を確立させてください。)その後、再度クイック設定 Web を起動し(▶P4-4)、[保存] をクリックしてください。(本商品の IP アドレスを変更した場合は、再度クイック設定 Web を起動する際、変更した IP アドレスを入力してください。)なお、[保存] をクリックせず、本商品の電源を切ったり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。

● らくらく無線スタート EX に関するトラブル

症状	原因と対策
らくらく無線スタート EX が成功しない	<ul style="list-style-type: none"> ●WM3450RN の WLAN ランプが緑点灯しているか確認する →消灯している場合は、側面の WLAN ON/OFF 切替スイッチを ON にしてください。 ●WM3450RN のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている →らくらくスタートボタンは、POWER ランプが緑点滅状態になったらいったん放します。「つなぎかたガイド」などの手順にしたがってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。  <ul style="list-style-type: none"> ●ドライバが正しく入っていない →詳細は、ご利用の無線 LAN 端末(子機)のメーカーにお問い合わせください。 ●らくらく無線スタート EX が正しくインストールされていない →添付の CD-ROM (ユーティリティ集)、または別紙に記載のホームページから最新のらくらく無線スタート EX をダウンロードしてインストールしてください。 ●WM3450RN の暗号化が解除されている →WM3450RN の暗号化設定を行ってください。(㊟機能詳細ガイド) ●WM3450RN の MAC アドレスフィルタリングの設定が正しいになっている →WM3450RN の MAC アドレスフィルタリングの設定が正しいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。(㊟機能詳細ガイド)

(次ページに続く)

症 状	原因と対策
らくらく無線スタートEXが成功しない(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンでファイアウォール、ウイルスチェックなどが動作している → 設定の前にファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。 ● パソコンに設定された固定 IP アドレスが WM3450RN のネットワーク体系とあっていない → パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。(●P1-13) ● 無線 LAN 端末 (子機) 専用の設定ユーティリティなどが動作している → 無線 LAN 端末 (子機) 専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。 ● WM3450RN と無線 LAN 端末 (子機) で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない → WM3450RN に無線 LAN 端末 (子機) で使用可能な暗号化方式や暗号化強度を設定してください。AES または 128bit WEP に対応していない無線 LAN 端末 (子機) を利用する場合 WM3450RN の設定を変更する必要があります。 ● どうしても設定できない場合は、「Windows Vista[®] および Windows[®] 7/XP の「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する」(●P3-9) で設定してください。


● ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
インターネット接続と切断が頻繁にできたりできなかったりする	<p>お客様が WiMAX サービス事業者との間で機器追加オプション(名称は各事業者により変わる場合があります。)を契約され、1つの WiMAX 回線で複数の WiMAX 機器を登録されていた場合、後から接続する機器がインターネットに接続され、先に接続されていた機器がインターネットから切断される場合があります。2台の機器どうして接続と切断を繰り返さないようにするため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クイック設定 Web の「詳細設定」－ [その他] － [切断時設定] にて [WiMAX 切断時の自動接続] の [接続する] のチェックを外してください。 なお、[保存] をクリックせず、本商品の電源を切ったり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。 <p>ただし、機器追加オプションでも、各 WiMAX サービス事業者ごとにサービス内容が違う場合があるため、この設定をしていても問題とならない場合があります。 (例：WiMAX 利用登録画面などで、使用する機器の切り替え手続きを行ってから、インターネット接続ができるようになる場合など) 詳細は、各 WiMAX サービス事業者のサービス説明をご確認ください。</p>
ブラウザが正常に開かない	<ul style="list-style-type: none"> ● WWW ブラウザでポップアップブロックが設定されていると、情報バーにポップアップブロックが表示され、正常に開かない場合があります。 → ポップアップブロックを解除し、再度ブラウザを開いてください。

症 状	原因と対策
<p>使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.XXX は、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された</p>	<p>● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。</p> <p>< IP アドレスの再取得 > < Windows® 7/Windows Vista® の場合 > ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする ③ ipconfig /release] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ④ ipconfig /renew] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤ IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)</p> <p>< Windows® XP の場合 > ① [スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする ② ipconfig /release] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ③ ipconfig /renew] を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ④ IP アドレス (IP Address) が「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)</p> <p>< Mac OS X の場合 > 以下は Mac OS X v10.6 Snow Leopard の場合の例です。 ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する ② [ネットワーク] 画面で [AirMac] を選択し、[詳細] をクリックする ③ [TCP/IP] タブをクリックする ④ [DHCP リースを更新] をクリックし、IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)</p> <p>< iOS の場合 > 以下は iOS 4.2 の場合の例です。 ① [ホーム] 画面の [設定] アイコンをタップする ② 設定メニューの [Wi-Fi] をタップする ③ [ワイヤレスネットワークを選択...] から、チェックが入っている接続中のネットワーク名 (SSID) の右側にある [>] ボタンをタップする ④ [DHCP リースを更新] をタップする ⑤ [DHCP リースを更新しますか?] をタップする</p>
<p>前回はできたのにインターネット接続ができない</p>	<p>● パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも WM3450RN の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 <IP アドレスの再取得> (● 上記) を参照して、IP アドレスを再取得してください。</p> <p>● 1Day 契約などの契約期限が切れている場合があります。 1Day 契約など、期間を限定して契約された場合、契約期限後に再度サービスを利用する場合は、WWW ブラウザから Web ウィザード画面にてサービス加入契約を完了させてください。 (●P5-2)</p>

症 状	原因と対策
WM3450RN が正常に動作しないが、原因がわからない	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定に誤りがある場合があります。どうしても動作しない場合は、初期化して工場出荷時の状態に戻し、最初から設定し直してください。
接続する無線動作モードのネットワーク名 (SSID) を忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● WM3450RN 側面の RESET スイッチによる初期化 (工場出荷状態に戻す) をしてください。(●P9-13) 出荷時のネットワーク名 (SSID) の設定は WM3450RN の裏面に記載されています。(●P9-4) ● LAN ポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 設定」を確認してください。
接続する無線動作モードの暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● WM3450RN 側面の RESET スイッチによる初期化 (工場出荷状態に戻す) をしてください。(●P9-13) 出荷時のネットワーク名 (SSID) の設定は WM3450RN の裏面に記載されています。(●P9-4) ● LAN ポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 設定」を確認してください。
無線状態が良好なのに速度が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 近くに隣接する無線チャンネルを使っている人がいる、または「チャンネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth などの電波を放射する装置で電波干渉がある。 →クイック設定 Web を起動して「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 設定」の「無線 LAN アクセスポイント (親機) 設定」で「使用チャンネル」の番号を変更します。設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャンネルから 4 チャンネル以上ずらすようにしてください。 ● WM3450RN と無線 LAN 端末 (子機) が近すぎる → 1m 以上離してください。
無線状態が良好なのに通信できない	<ul style="list-style-type: none"> ● < IP アドレスの再取得 > (●P9-9) を参照して、IP アドレスが取得できるか確認してください。 ● 固定 IP アドレスでお使いの場合は、WM3450RN と無線 LAN 端末 (子機) に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 (例: WM3450RN が 192.168.0.1 のとき、無線 LAN 端末 (子機) は 192.168.0.XXX)
無線 LAN 端末 (子機) を利用して、AV サーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛び	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線状態が悪い (WM3450RN との距離が離れすぎている) → 電波状態が良好となる場所に移動してください。 ● 電波干渉がある → 無線チャンネルを確認して、別のチャンネルに変更してください。(●上記) ● AV サーバのレートを低品質に下げてください。
WM3450RN のバージョンを確認したい	<ul style="list-style-type: none"> ● 次の方法で確認できます。 →クイック設定 Web の「情報」 - 「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」

添付の CD-ROM に関するトラブル

症 状	原因と対策
CD-ROM セット直後に表示される画面を表示したくない	<p>Windows[®] XP の場合、CD-ROM をセットすると、画面が表示されるように設定されています。</p> <p>→表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。</p> <ul style="list-style-type: none">●不要な場合は  をクリックします。(機種によっては [終了] をクリックします。)●Windows[®] XP の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。

初期化とは、WM3450RN に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。WM3450RN がうまく動作しない場合は、WM3450RN を初期化してはじめてから設定し直すことをお勧めします。

※ 加入者契約は、解除・解約できません。サービス事業者へお問い合わせください。

※ 初期化の際は、P9-13 の「お願い」もご覧ください。

※ 初期化しても、お客様がバージョンアップした WM3450RN のファームウェアはそのまです。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定 Web で初期化する (● 下記)

RESET スイッチで初期化する (● P9-13)

クイック設定 Web で初期化する

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に「http://aterm.me/」と入力して、クイック設定 Web のページを開く

WM3450RN の IP アドレスを入力しても開きます。

(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

例 : http://192.168.0.1/

3 ユーザ名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「メンテナンス」の【設定値の初期化】を選択する

5 【設定値の初期化】をクリックする



6 [OK] をクリックする

WM3450RN が再起動します。

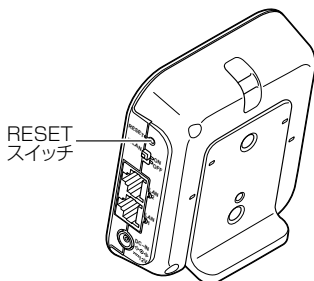
RESET スイッチで初期化する

WM3450RN の RESET スイッチを使って初期化を行います。RESET スイッチは、側面にあります。

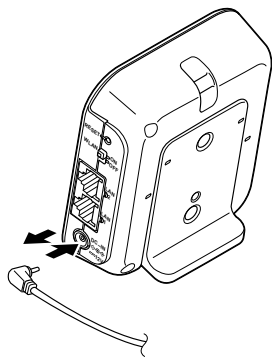
1 WM3450RN の POWER ランプが緑点灯していることを確認する

2 WM3450RN の側面にある RESET スイッチを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で押し続け、POWER ランプが赤点滅を始めたら放す

POWER ランプが赤点滅するまで約 6 秒～10 秒かかります。



3 WM3450RN から AC アダプタのプラグをいったん取り外したあと、10 秒ほど待ってから、再び差し込む



お願い

- WM3450RN の設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。
- WM3450RN は、工場出荷時に、ネットワーク名 (SSID)、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名 (SSID)、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（本商品の裏面に記載）になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線 LAN 端末（子機）から接続できなくなる場合があります。その場合は、WM3450RN の設定を変更するか、無線 LAN 端末（子機）の暗号化設定も工場出荷時の状態（本商品の裏面に記載）に戻してください。

MEMO



10



付録

10-1	製品仕様	10-2
10-2	索引	10-4

WM3450RN ハードウェア仕様

項目		諸元および機能		備考
WiMAX インタ フェース	IEEE802.16e- 2005	周波数帯域/ BW	2.5GHz 帯 (2,595 ~ 2,625MHz) / 10MHz, 5MHz TDD	
		伝送方式	OFDMA (直交周波数分割多重) 方式	
		最大出力	26dBm	
	アンテナ	内蔵×2 (MIMO 方式)		
LAN インタ フェース	物理 インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 2 ポート		Auto MDI/ MDI-X 対応
	インタフェース	100BASE-TX		
	伝送速度	100Mbps		
	全二重 / 半二重	全二重 / 半二重		
無線 LAN インタ フェース	11nテクノロジー	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400 ~ 2,484MHz) / 1 ~ 13ch *3	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式	
		伝送速度 *1	2.4GHz 帯 [HT20] *2 65/58.5/52/39/26/ 19.5/13Mbps (自動フォールバック) 2.4GHz 帯 [HT40] *2 150/135/121.5/108/81/ 54/40.5/27/13.5Mbps (自動フォールバック)	
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400 ~ 2,484MHz) / 1 ~ 13ch *3	
		伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式	
		伝送速度 *1	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)	
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400 ~ 2,484MHz) / 1 ~ 13ch *3	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 52	
		伝送速度 *1	54/48/36/24/18/12/9/ 6Mbps (自動フォールバック)	
	アンテナ	送信 1 × 受信 1 (内蔵アンテナ)		

項目		諸元および機能	備考	
無線LAN インタ フェース	セキュリティ	SSID、MAC アドレスフィルタリング、ネット ワーク分離機能、WEP (128/64bit)、WPA- PSK (TKIP、AES)、WPA2-PSK (TKIP、 AES)		
ヒューマン インタ フェース	状態表 ランプ	POWER	電源通電時点灯	
		WLAN	無線 LAN の通信状態表示	
		LAN	有線 LAN の通信状態表示	
		WiMAX	WiMAX の通信状態表示	
	アンテナ 1～3	WiMAX の電界強度表示		
	スイッチ	らくらくスタートボタン× 1 RESET スイッチ× 1 WLAN ON/OFF 切替スイッチ× 1		
動作保証環境		温度 0～40℃ 湿度 10～90%	結露しないこと	
外形寸法		約 89 (W) × 28.5 (D) × 100 (H) mm	スタンド 含まず	
電源		AC100V ± 10% 50/60Hz	ACアダプ タ使用	
消費電力		6.0W (最大)		
質量 (本体のみ)		約 130g	ACアダプ タを除く	

- * 1: 規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。
- * 2: ご利用環境によっては、HT40/HT20 モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを「使用する」に設定しても、HT20 で接続される場合があります。
- * 3: オートチャンネルセレクト時は、1～11ch

☉マークの項目については、ホームページに公開している「☉機能詳細ガイド」で説明しています。

【数字】

11nテクノロジー無線LAN …… ☉

【A～Z】

ACアダプタ …… 1-8

ACアダプタ接続コネクタ …… 1-11

AES …… 1-5

AirMac対応のパソコンで

インターネット接続 …… ☉

CD-ROM …… 18、1-8

DHCP固定割当設定 …… ☉

DHCPサーバ機能 …… ☉

DHCP除外設定 …… ☉

DNSフォワーディング …… ☉

DNSルーティング …… ☉

ESS-IDステルス機能
(SSIDの隠蔽) …… 7-2、☉

IEEE802.11b無線LAN …… ☉

IEEE802.11g無線LAN …… ☉

IPパケットフィルタリング …… 6-2、☉

JavaScript …… 1-16

LANポート …… 1-11

LANランプ …… 1-11

MACアドレス

～フィルタリング機能 …… 7-2、☉

PIN方式 …… 3-5

POWERランプ …… 1-9

RESETスイッチ …… 1-11、9-13

TKIP …… 1-5

TV電話をする(Windows Messenger
およびWindows Live Messenger
の利用方法) …… 1-6、6-2

UPnP機能 …… 6-2、☉

VPNパススルー機能 …… 6-2、☉

WAN側機能 …… ☉

WEP …… 1-5

WiMAXに関するトラブル …… 9-3

WiMAXランプ …… 1-9、1-10

WLAN ON/OFF切替スイッチ …… 1-11

WLAN(Wi-Fi)ランプ …… 1-9、1-10

WPS機能 …… 1-4、3-4、☉

WWWブラウザの設定 …… 1-15

【ア行】

悪質サイトブロック(ファミリースマイル)
機能 …… 1-4、7-4、☉

アドバンスドNAT

(IPマスカレード/NAPT) …… ☉

アドバンスドNAT

(ポートマッピング) …… ☉

暗号化 …… ☉

安全にお使いいただくために …… 5

アンテナランプ …… 1-9、1-10

医療電気機器 …… 7

インターネット接続先の登録 …… ☉

オートチャンネルセレクト …… ☉

置き場所を決める …… 2-2

【カ行】

各部の名称とはたらき …… 1-9

管理者パスワードの変更 …… ☉

機能一覧 …… 17

「機能詳細ガイド」目次 …… 17

クイック設定Web …… 4-2

～で初期化する …… 9-12

～の起動のしかた …… 4-4

～の使い方 …… ☉

ゲーム機を接続する …… 1-6、3-8

工場出荷時の状態にもどす(初期化) …… 9-12

構成部品 …… 1-8

【サ行】

時刻設定 …… ☉

情報表示(装置情報、状態表示) …… ☉

初期化する

RESETスイッチで～ …… 9-13

クイック設定Webで～ …… 9-12

製品仕様 …… 10-2

セキュリティ機能 …… 7-2

接続する	
無線 LAN で iPad/iPod touch/iPhone から～	3-7
無線 LAN 内蔵のゲーム機から～	3-8
設置する	2-2
壁掛けの場合	2-5
縦置きの場合	2-4
設置に関するトラブル	9-2
設定する	
Windows Vista® および Windows® 7/XP の「ワイヤレス ネットワーク接続」で～	3-9
WPS 機能を使用して～	3-4
悪質サイトブロック (ファミリースマイ ル) 機能を～	7-3
無線 LAN を～	3-2
設定値の初期化	9-12

【タ行】

ダイナミックポートコントロール機能	④
通信確認 (疎通確認テスト)	④
通信情報ログ (アクセスログ機能)	④
できること	1-2
添付の CD-ROM に関するトラブル	9-11
ドライバをインストールする	④
トラブルシューティング	9-2

【ナ行】

ネットワーク	
パソコンの～の確認	④
ネットワークゲーム	1-6
ネットワーク分離機能	④
ネットワーク名 (SSID)	④

【ハ行】

バージョンアップ	8-2
はじめに (マニュアル構成)	2
パソコンのネットワークの確認	1-13
ファームウェアの更新	④
ファイアウォール	
	1-12、9-4、9-6、9-8

不正アクセス検出機能	④
ブロードバンドルータ機能	④
ブロック画面の一時解除方法	7-11
便利な機能	6-2
ポートマッピング	6-2
ポップアップヘルプ	4-5

【マ行】

マルチ SSID	1-5、④
無線セキュリティ	④
目次	15

【ラ行】

らくらくスタートボタン	1-9、1-10
らくらく無線スタート EX 機能	④
らくらく無線スタート機能	④
ランプ表示	1-9
ルータ機能	④
例外サイト	7-10

【ワ行】

ワイヤレスネットワーク接続	3-9
---------------	-----

■本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品は、セキュリティ確保のため、自動設定時に通信を暗号化しています。
通信の暗号化には、OpenSSL プロジェクトで作成された OpenSSL Toolkit ソフトウェアを使用しています。

OpenSSL Toolkit ソフトウェアは世界で広く使用されており、ライセンス規約を順守することによって無料で使用できます。

以下に OpenSSL Toolkit のライセンス規約（原文）を記載します。

なお、本商品のマニュアルなどで記載されている通常の使用においては、ライセンス規約に違反することはありません。

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met.

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES, LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS, OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLLeay License

Copyright© 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com)" The word "cryptographic" can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related.;
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES, LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS, OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. I.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence (including the GNU Public Licence.)

WIDE Project

Copyright© 1995-1997 Akihiro Tominaga
Copyright© 1995-1997 WIDE Project
All rights reserved.

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided the following conditions are satisfied.

1. Both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.
2. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes software developed by WIDE Project and its contributors."
3. Neither the name of WIDE Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE DEVELOPER "AS IS" AND WIDE PROJECT DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE. ALSO, THERE IS NO WARRANTY IMPLIED OR OTHERWISE, NOR IS SUPPORT PROVIDED.

LICENSE

The Copyright Holders of this software, including all accompanying documentation ("Software"), hereby grant, royalty free and for any purpose, permission to use, copy, modify and prepare derivative works therefrom, distribute, publish, sublicense and sell copies of the Software and to permit persons to whom the Software is furnished to do the same, all subject to the following conditions:

1. The complete text of the following notices shall be reproduced on each copy or substantial copy of the Software in a location readily viewable to users of the Software.

NOTICE

Copyright (c) Ericsson, IBM, Lotus, Matsushita Communication Industrial Co., Ltd., Motorola, Nokia, Openwave Systems, Inc., Palm, Inc., Psion, Starfish Software, Symbian, Ltd. (2001-2002).

All Rights Reserved.

Implementation of all or part of any Software may require licenses under third party intellectual property rights, including without limitation, patent rights. The Copyright Holders are not responsible and shall not be held responsible in any manner for identifying or failing to identify any or all such third party intellectual property rights.

THIS DOCUMENT AND THE INFORMATION CONTAINED HEREIN ARE PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND AND ERICSSON, IBM, LOTUS, MATSUSHITA COMMUNICATION INDUSTRIAL CO., LTD, MOTOROLA, NOKIA, OPENWAVE, PALM INC., PSION, STARFISH SOFTWARE, SYMBIAN AND ALL OTHER SYNCML SPONSORS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTY THAT THE USE OF THE INFORMATION HEREIN WILL NOT INFRINGE ANY RIGHTS OR ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT SHALL ERICSSON, IBM, LOTUS, MATSUSHITA COMMUNICATION INDUSTRIAL CO., LTD, MOTOROLA, NOKIA, OPENWAVE, PALM INC., PSION, STARFISH SOFTWARE, SYMBIAN OR ANY OTHER SYNCML SPONSOR BE LIABLE TO ANY PARTY FOR ANY LOSS OF PROFITS, LOSS OF BUSINESS, LOSS OF USE OF DATA, INTERRUPTION OF BUSINESS, OR FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL OR EXEMPLARY, INCIDENTAL, PUNITIVE OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND IN CONNECTION WITH THIS DOCUMENT OR THE INFORMATION CONTAINED HEREIN, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH LOSS OR DAMAGE.

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまえば能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

MEMO

MEMO

MEMO

製造元：NEC アクセステクニカ株式会社
Aterm WM3450RN 取扱説明書 第1版

AM1-001801-001
2011年12月

